一 般 演 題
（口頭発表）

プログラム

1日目　8月30日（木）

演題番号

例：**1-2-01**

期　日
1：1日目
2：2日目

会場

1日目（8月30日（木））

ヘリコバクター・ピロリ①（口頭発表）第2会場（2F 中会議室 201）　【11:00 ～ 12:30】
座長：井上　和彦（一般財団法人淳風会　淳風会健康管理センター　センター長）

1-2-01　当院の任意型検診における *Helicobacter pylori* 感染率の 12 年間の推移
○田中　芳次[1]　松浦　貴彦[2]　佐々木英治[3]　奥田　英裕[1]　吉岡　辰泰[1]　岡崎　陽子[1]
織田　寛子[1]　畠山　　令[1]　石井　浩崇[1]
NTT 東日本伊豆病院　医療技術部　臨床検査室[1]　NTT 東日本伊豆病院　診療部　予防医学科[2]
NTT 東日本伊豆病院　医療技術部　放射線室[3]

1-2-02　人間ドック受診者におけるヘリコバクター・ピロリ（HP）感染が健診データに及ぼす影響の検討
○井芹　有紀[1]　大山　　隆[1]　宮川　純子[1]　林　　愛[1]　富樫　理子[1]　酒見　隆信[1]
梅村　　創[1]　南　美和子[1]　市場　正良[2]　岩坂　　剛[1]
医療法人社団　高邦会　高木病院　予防医学センター[1]　佐賀大学医学部　社会医学講座[2]

1-2-03　ヘリコバクター・ピロリ感染の既往が健診結果に与える影響について
○高森　行宏　　米本　智美　　遠藤真紀子
（公財）田附興風会　北野病院　健康管理センター

1-2-04　人間ドックで診断された *Helicobacter pylori* 感染胃炎症例における除菌の現状と対策
－胃年齢の数値化による受診勧奨の試み－
○安田　　貢[1]　佐野　　愛[1]　龍田　美和[2]　前田　　剛[3]　厚井　文一[3]　森　　由弘[4]
荒川裕佳子[4]　村尾　　敏[5]
KKR 高松病院　人間ドックセンター[1]　KKR 高松病院　消化器内科[2]　KKR 高松病院　内科[3]
KKR 高松病院　呼吸器内科[4]　KKR 高松病院　糖尿病内科[5]

1-2-05　人間ドックにおける血清ピロリ菌抗体陰性高値例の検討
○矢島　義昭[1]　太田　英孝[1]　松本　　健[1]　錦戸　　崇[1]　石井　秀和[1]　戸塚　真弓[2]
黒澤　　功[3]
黒沢病院附属ヘルスパーククリニック　内科[1]　黒沢病院附属ヘルスパーククリニック　健診部[2]
黒沢病院附属ヘルスパーククリニック　泌尿器科[3]

1-2-06　内視鏡的に胃炎の所見を有する抗ヘリコバクターピロリ IgG 抗体陰性例に他の感染診断法を追加する妥当性の検討
○阿座上聖史　　宮崎　雅也　　涌島　　宏　　野俣浩一郎　　武冨　勝彦　　宮崎　久彌
三佼会宮崎診療所

1-2-07　当院での血中ピロリ抗体陰性高値者のフォローに関する検討
○水島　孝明　　海野　正俊　　金田　道弘　　秋田　育江　　岡本　恵子
金田病院

1-2-08　LZ テスト ‘ 栄研 ’H. ピロリ抗体を用いた H.pylori 感染の判定基準の再評価についての検討
○河原崎綾子[1]　溝上　祐香[1]　阿尾　浩子[1]　宮崎　文恵[1]　斉藤　花絵[1]　深地　幸恵[1]
岡部佳代子[1]　園尾　広志[2]　小林　　亮[2]
社会医療法人生長会　ベルクリニック　臨床検査室[1]　社会医療法人生長会　ベルクリニック　診療部[2]

1-2-09　各種血清ヘリコバクターピロリ抗体を用いた ABC 分類の評価
○井上　和彦[1]　久本　信実[2]　鎌田　智有[3]　春間　　賢[1]
淳風会健康管理センター[1]　淳風会ロングライフホスピタル[2]　川崎医科大学総合医療センター総合健診センター[3]

プレナリーセッション（口頭発表）第２会場（2F 中会議室 201）　【16:00 ～ 17:30】
座長：荒瀬　康司（虎の門病院付属健康管理センター・画像診断センター）

1-2-10　職域健診において血清高分子量アディポネクチン濃度低値は５年後の耐糖能悪化と関連する
○広瀬　寛[1,2,3]　高山美智代[2]　清水　良子[2,3]　井上　詠[2,3]　森　正明[1]
岩男　泰[2,3]
慶應義塾大学　保健管理センター[1]　慶應義塾大学病院　予防医療センター[2]　慶應義塾大学　医学部　内科[3]

1-2-11　人間ドックにおける視野検査の有用性
○和田　高士[1]　寺内　稜[2]　加藤　秀一[3]　加地　正伸[3]　加藤　智弘[3]　立道　昌幸[4]
中野　匡[2]
東京慈恵会医科大学　大学院　健康科学[1]　東京慈恵会医科大学　眼科学[2]
東京慈恵会医科大学　総合健診・予防医学センター[3]　東海大学医学部　基盤診療学系衛生学公衆衛生学[4]

1-2-12　‘正常者’の“白質病変”に関する研究―eGFR を中心にした検討―
○西山こころ[1]　荒井　孝子[1]　松浦　明美[1]　伊藤　暖[1]　東野　定律[2]　武田　英孝[3]
池田　俊也[4]　天野　隆弘[3,4]
静岡県立大学　看護学部[1]　静岡県立大学　経営情報学部[2]　山王メディカルセンター[3]
国際医療福祉大学　医学部[4]

1-2-13　人間ドックにおける大腸 CT 検査―大腸がん一次検診としての有用性―
○満崎　克彦　野村美緒子　福永　久美　菅　守隆
済生会熊本病院予防医療センター

1-2-14　随時尿による推定塩分摂取量測定の導入は人間ドック受診者の減塩と血圧低下に寄与する
－ Niigata Wellness Study －
○池田　澄代[1]　本間　尚江[1]　塚本　雅子[1]　松田　和博[1]　齋藤　清美[1]　小林　篤子[1]
小林　隆司[1]　北川　寛[1]　佐藤　幸示[1]　加藤　公則[1,2]
（一社）新潟県労働衛生医学協会[1]　新潟大学大学院　生活習慣病予防検査医学講座[2]

1-2-15　肺がん外科治癒切除患者における AICS（肺）ランクと予後についての検討
○東山　聖彦[1]　穴山　貴嗣[2]　岡見　次郎[1]　徳永　俊照[1]　菊池　信矢[3]　山本　浩史[3]
池田　温子[3]　渡橋　和政[2]　今村　文生[1]
大阪国際がんセンター[1]　高知大学医学部外科学第２[2]　味の素株式会社[3]

消化器（上部消化管）①（口頭発表）第３会場（3F 中会議室 301B）　【11:00 ～ 12:30】
座長：中川　高志（医療法人　大宮シティクリニック　理事長）

1-3-01　人間ドック上部消化管内視鏡健診における胃がんリスク検診（ABC 検診）D 群の検討
○中村　哲之　池田　正俊　柴多　三省　今　陽一　小沼　邦男　眞田　利男
権田　晴江　須藤　保美　天笠　豊　長谷川亜矢子
SUBARU 健康保険組合　太田記念病院　健康管理センター

1-3-02　バセドウ病発症に伴い一過性にペプシノーゲン法が陽性化した一例
○神谷　英樹[1]　内田　優一[2]　原　尚人[3]
セントラル総合クリニック　健診センター[1]　セントラル総合クリニック　消化器内科[2]
筑波大学医学医療系　乳腺内分泌外科[3]

1-3-03　「胃炎の京都分類」からみた胃粘膜評価
○長谷部靖子　渡邉　早苗　松村　賢治　松浦恵美子　八木　完
医療法人順風会　順風会健診センター

1-3-04　当院における成人鳥肌胃炎の検討

○小寺　徹[1]　安田　光徳[2]
医療法人　徳洲会　宇治徳洲会病院　健診センター[1]　医療法人　徳洲会　宇治徳洲会病院　消化器内科[2]

1-3-05　胃内視鏡健診における萎縮性胃炎と血中脂質の検討

○加藤　俊幸　田辺　理子　小林久美子　福田　祐明　森岡　睦美　松浦　恵子
阿部　尚平　蒲澤　杜夫　清水不二雄　村山　実
（一社）新潟縣健康管理協会

1-3-06　人間ドックにおける胃内視鏡検診―逐年受診の有用性を再考する―

○野村美緒子　満崎　克彦　福永　久美　井上　悦子　菅　守隆
済生会熊本病院予防医療センター

1-3-07　当院職員健診における上部消化管検査の現状と課題

○川田　和昭
静岡赤十字病院健診センター・経鼻内視鏡センター

1-3-08　当施設の胃がん検診成績の報告

○黒沼　典剛[1]　大澤　健[2]　薬師寺一成[1]　高村　雅礼[1]　長谷川剛志[2]　井上　博昭[2]
㈱日立総合病院　日立総合健診センター[1]　㈱日立総合病院[2]

1-3-09　当健診センターで経験した消化管異物症例の検討

○谷　瑞希　相澤　宏樹　楠本　雅之　石坂　裕子
三井記念病院総合健診センター

肝臓①（口頭発表）第３会場（3F 中会議室 301B）　【14:00 ～ 14:50】
座長：三原　修一（みはらライフケアクリニック院長）

1-3-10　健診腹部超音波検査における脂肪肝の実績（生活習慣とのかかわり）

○浅井　奎子[1]　福田新一郎[2]　大村　千早[2]　平井　久美[2]　小泉ルミ子[4]　西尾　学[3]
医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　臨床検査科[1]
医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　健康管理センター　消化器内科[2]
医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　健康管理センター　循環器科[3]
医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　健康管理センター　看護部[4]

1-3-11　人間ドックにおける腹部超音波下 Shear Wave Elastography 測定の試み

○古谷　亮　木村　敦子　小越　陽子　山崎　史恵　萩谷美津子　竹下　彰
山本　幸枝　中村　稔　高橋　直樹
医療法人社団相和会　横浜総合健診センター

1-3-12　低線量肺 CT 検査における肝脾比を用いた脂肪肝超音波診断の精度比較研究
2012 年度と 2017 年度の比較

○藤田　佐保[1]　阿部　彰[1]　那須井友加里[1]　吉岡　久子[1]　井上　基[1]　須田　剛士[2]
阿部　淳[1]
一般社団法人　上越医師会　上越地域総合健康管理センター[1]
新潟大学医歯学総合病院　地域医療教育センター魚沼基幹病院　消化器内科[2]

1-3-13　アルコール体質別の飲酒と脂肪肝との関連について

○高橋　英孝[1]　小林　功幸[2]
東海大学　医学部付属八王子病院　健康管理センター[1]　東京都同報援護会　昭島病院　消化器内科[2]

1-3-14　長期縦断的調査からみたコーヒーによる脂肪肝抑制効果と臨床検査値への影響

○船津　和夫　山下　毅　斗米　馨　影山　洋子　和田　哲夫　近藤　修二
横山　雅子　水野　杏一
公益財団法人　三越厚生事業団　三越総合健診センター

消化器（上部消化管）②（口頭発表）第３会場（3F 中会議室 301B）　【14:50 ～ 16:20】
座長：岩男　泰（慶應義塾大学病院　予防医療センター　センター長）

1-3-15　人間ドックの上部消化管検査における食道病変と肥満度・脂質代謝の検討

○田辺　理子　加藤　俊幸　小林久美子　福田　祐明　森岡　睦美　松浦　恵子
阿部　尚平　蒲澤　杜夫　清水不二雄　村山　実
一般社団法人　新潟縣健康管理協会

1-3-16　検診での食道癌スクリーニングにおける NBI の有用性について

○園尾　広志　小林　亮
社会医療法人生長会　ベルクリニック

1-3-17　人間ドックを契機に発見された好酸球性食道炎の検討

○鎌田　智有[1]　春間　賢[2]　井上　和彦[3]　眞部　紀明[4]　角　直樹[1]　山中　義之[5]
藤本　荘八[5]　久本　信實[3]　高尾　俊弘[5]
川崎医科大学総合医療センター健康管理学[1]　川崎医科大学総合医療センター総合内科学２[2]
淳風会ロングライフホスピタル[3]　川崎医科大学検査診断学[4]　川崎医科大学健康管理学[5]

1-3-18　上部消化管内視鏡検査での食道所見と生活習慣に関しての評価

○長谷部靖子　渡邉　早苗　松村　賢治　松浦恵美子　八木　完
医療法人順風会　順風会健診センター

1-3-19　胸部 X 線検査から発見された食道裂孔の Omental herniation の１例

○石坂　裕子　相澤　宏樹　楠本　雅之　代田　翠　杼窪　豊　山門　實
谷　瑞希
三井記念病院　総合健診センター

1-3-20　当施設上部消化管内視鏡検査で経験した胃底腺型胃癌の２例

○藤井　郁英　鈴木千衣子　久保　智子　岡本　恭典　三好　正規
医療法人協愛会　阿知須共立病院　総合健診センター

1-3-21　当院健診センター人間ドック上部内視鏡で発見された EB ウイルス関連性早期胃癌３例の検討

○中野浩一郎　深尾　俊一　伊藤　寛　横田　広子　奥嶋　一武　安藤　拓也
齋藤慎一郎　前田　頼佑　神谷　賢吾　村瀬　寛倫
医療法人社団以心会　中野胃腸病院　健診センターなかの

1-3-22　上部消化管内視鏡検査後に一過性全健忘症を来した３症例

○芹澤　隆宏
甲府共立病院　健診センター

1-3-23　人間ドック受診を契機に発見された小腸 GIST の１例

○有光　研吾　光島　徹　和田　亮一　岡田　実　片山　信仁　国府田桂子
丸　忠師　富田　裕邦　安村　将人
亀田メディカルセンター幕張

膵臓・胆管（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）　【11:00 ～ 12:20】
座長：田中　幸子（公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター顧問）

1-4-01　当施設における膵臓 MRI 検査と腹部超音波検査との結果の比較検討
○中務　篤　松尾　浩二　大角　博久　北河　岳史　山本　彩香　井上　和彦
春間　賢　清水　信義
一般財団法人淳風会　淳風会健康管理センター

1-4-02　高周波プローブ使用を標準化した膵臓の超音波検査
○片山　和弥[1]　松本　直樹[2]　小川　眞広[2]　五ノ井　渉[3]　植松　彩子[1]　高橋　理香[1]
平野　好絵[1]　村松　和美[1]
医療法人社団　せいおう会　鶯谷健診センター[1]　日本大学医学部消化器肝臓内科[2]　東京大学医学部付属病院[3]

1-4-03　腹部超音波検査における膵描出不良所見に対する取り組み
○千田　裕子[1]　加藤理恵子[1]　伊藤　絵里[1]　内田　裕美[1]　奥田　桂子[1]　藤井　清孝[1]
仲野　敏彦[1]　山口　和也[2]　長尾　啓一[1]　瀧澤　弘隆[1]
一般財団法人柏戸記念財団ポートスクエア柏戸クリニック[1]　公益財団法人ちば県民保健予防財団[2]

1-4-04　ドック受診者での膵嚢胞性病変検出率と上腹部超音波での検出低下に関与する要因の検討
○柏木　和弘[1]　清野　隆史[1]　吉田　諭史[1]　高山美智代[1]　井上　詠[1]　伊藤　一成[1,2]
百島　祐貴[1,2]　杉野　吉則[1,2]　広瀬　寛[3]　岩男　泰[1]
慶應義塾大学病院　予防医療センター[1]　慶應義塾大学　医学部　放射線科[2]
慶應義塾大学　医学部　保健管理センター[3]

1-4-05　腹部超音波検診で発見される膵嚢胞について～過去７年間の比較検討～
○福元　嘉也　樋脇　誠　西　憲文　原口　誠　宮原　広典　前之原茂穂
鹿児島厚生連病院　健康管理センター

1-4-06　当施設人間ドック受診者における慢性膵炎の検討
○柳澤　由佳[1]　宍戸　淑子[1]　高木　健治[2]　平林　和子[2]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター　健康管理部[1]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター　診療部[2]

1-4-07　膵アミラーゼ高値者の内訳及び膵アミラーゼと推定糸球体濾過量との関連
○菅野壮太郎　古賀　文子　萩原　美桜　菅原　知紀　根上　昌子　小川　哲史
大塚　博紀
社会医療法人財団　石心会　さやま総合クリニック　健診センター

1-4-08　胆管癌の一例からみる総胆管拡張の経過観察について
○葛城　沙月　安田　洋二　熊谷　宗晃　山岡水容子　山本　晃之　西村　浩美
医療法人創健会　西村診療所

乳腺①（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）　【14:00 ～ 15:00】
座長：櫻井　健一（日本大学医学部附属板橋病院　乳腺内分泌外科部）

1-4-09　MMGとＵＳどちらを選びますか？～乳がん検診に対する意識調査～
○安保　沙耶　中本沙理安　工藤　真弓　吹田　沙織　田形　千恵　鮒田亜由美
船員保険　北海道健康管理センター　放射線科

1-4-10　乳癌検診における 2D と 3D マンモグラフィの比較
○内田　賢　中田希代子　山下　陽子　進藤　仁
明治安田新宿健診センター

1-4-11　当施設におけるデンスブレストへの対策

○坂上さやか　原田　恵実　西村　美穂　若林　美咲　色摩　希美　田所佳奈子
梶田千恵子　野崎　浩二　塚田　一義　林　建男
社会医療法人財団　石心会　アルファメディック・クリニック

1-4-12　人間ドックにおける豊胸術後女性に対しての留意点

○栗原　照昌　黒澤　功
黒沢病院付属ヘルスパーククリニック　高崎健康管理センター

1-4-13　マンモ PET による乳癌検診にて発見した早期乳癌の一例

○岡原　正幸[1]　有田　道典[1]　隅田ますみ[2]　秦　良一郎[2]　丸川　和志[2]
中電病院　PET・検診センター[1]　中電病院　放射線科[2]

1-4-14　増悪を示した乳管内乳頭腫の 1 例

○服部　有子[1]　富山　宏美[1]　美濃　可織[1]　小野里　恵[1]　諸田　哲也[2]　大桃　優子[2]
坂田　英子[3]
(一社) 新潟県労働衛生医学協会[1]　新潟ブレスト検診センター[2]　新潟市民病院[3]

脂質代謝（口頭発表）第 4 会場（3F 中会議室 301A）　【15:00 ～ 16:30】
座長：村上　正巳（群馬大学大学院医学系研究科　臨床検査医学　教授）

1-4-15　脂質検査の基準値変更が脂質判定に与える影響のシミュレーション

○大西　洋三[1]　守屋　智弘[2]　佐藤　亨哉[2]　森山　紀之[2]
医療法人社団　進興会　進興クリニック[1]　医療法人社団　進興会[2]

1-4-16　脂質異常症の簡便な予測因子としての体力テストの可能性：コホート研究
－ Niigata Wellness Study －

○門間　陽樹[1,2,3]　澤田　亨[4]　丸藤　祐子[3]　宮地　元彦[3]　永富　良一[1]
田代　稔[5]　加藤　公則[2,5]　曽根　博仁[2]
東北大学大学院[1]　新潟大学大学院[2]　医薬基盤・健康・栄養研究所[3]　早稲田大学[4]　新潟県労働衛生医学協会[5]

1-4-17　HDL コレステロール亜分画と血清尿酸値の関連

○護山　健悟
東海大学　医学部　基盤診療学系　健康管理学

1-4-18　LDL 亜分画と血清尿酸値の関連

○護山　健悟
東海大学　医学部　基盤診療学系　健康管理学

1-4-19　吹田スコアのリスク評価を人間ドックで応用するための基礎検討
－ Niigata Wellness Study －

○田中加奈子[1]　高橋　克美[1]　渡部美穂子[1]　北神優太郎[1]　松田　和博[1]　加藤　公則[1,2]
(一社) 新潟県労働衛生医学協会[1]　新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座[2]

1-4-20　高度高 LDL コレステロール血症の検診諸検査の特徴
～家族性高コレステロール血症を考慮して～

○逸見　佳代[1]　星野真知子[1]　荒木　健彦[1]　山岸由起考[1]　長沼　文雄[2]　鶴谷　英樹[2]
鶴谷会鶴谷病院　検診センター[1]　鶴谷会鶴谷病院　循環器内科[2]

1-4-21　RLP-C 代謝に影響を与える生活習慣の検討

○坂巻　浩二[1,2]　常川　勝彦[2]　井上　尚美[1]　八束富美子[1]　正村　泰博[1]　工藤　瑞穂[1]
阿久澤まさ子[1]　永野　伸朗[3]　下村洋之助[3]　村上　正巳[3]
医療法人社団日高会　日高病院　健診センター[1]　群馬大学大学院医学系研究科　臨床検査医学[2]
医療法人社団日高会　日高学術研究センター[3]

1-4-22　トリグセライド／HDL コレステロール比（TG/HDLC 比）およびアポリポ蛋白 B とマロンジアルデヒド修飾 LDL コレステロールとの関係

○岸本　憲明[1,2,3]　椎名　豊[1,2]　山田　千積[1]　後田　奈々[1]　羽田野敦子[1,2]
仁科　良[1,2]　本間　康彦[2]　久保　明[3]　石井　直明[3]　西崎　泰弘[1,3]
東海大学　医学部　基盤診療学系　健康管理学[1]　東海大学　医学部　付属病院　健診センター[2]
東海大学大学院医学研究科ライフケアセンター[3]

1-4-23　禁煙の効果

○久保田　進　真宮　裕　根岸　守　五島　雅和　仲村　聡子
赤心堂総合健診クリニック

診断 - その他（口頭発表）第 5 会場（3F 中会議室 302B）　【11:00 ～ 12:20】
座長：武藤　繁貴（社会福祉法人聖隷福祉事業団保健事業部　聖隷健康診断センター所長）

1-5-01　雇用時健診における薬物検査導入の取り組みと今後の課題

○伊藤　明美　今野　美佳　山田　佳世　岡田　智美　矢吹　清　細川慶二郎
一般財団法人　公衆保健協会　検査課

1-5-02　海外勤務が生活習慣病に及ぼす影響に関する検討

○杉尾　裕美　長井　悦子　眞弓　周子　木下　陽花　池原　瑞樹
パナソニック健康保険組合　松下記念病院　ドック健診センター

1-5-03　産業保健・労働衛生の 3 管理に基づいた超音波検査業務の検証

○石澤麻利子　荒木公美子　内村　達弥　宮内　輝幸　森山　紀之
医療法人社団　進興会

1-5-04　エクオール検査（ソイチェック）導入後の結果と活用の検討

○中野　真宏　篠原　裕枝
地方独立行政法人　新小山市民病院　予防医学センター

1-5-05　当センターにおける受診者の治療薬と健康状態に関する意識について

○金山由美子　澤口美代子　浅野　真紀　石坂　裕子
三井記念病院　総合健診センター

1-5-06　多機能 2 次元コードリーダーを使用した超音波診断装置への受診者情報の入力

○川端　清文　久保　一心
船員保険　北海道健康管理センター

1-5-07　健診における転倒転落有害事象の発生傾向と予防策の検討

○佐藤　暦美　浅野　真紀　石坂　裕子
三井記念病院　総合健診センター

1-5-08　後腹膜原発の Castleman 病の一例

○安井　裕子[1]　臼倉　幹哉[2]　吉光　裕[3]　北村　星子[4]
芳珠記念病院　健診センター[1]　芳珠記念病院　内科[2]　芳珠記念病院　外科[3]　芳珠記念病院　病理診断科[4]

動脈硬化①（口頭発表）第５会場（3F 中会議室 302B）　【14:00 ～ 15:00】
座長：福井　敏樹（医療法人社団如水会　オリーブ高松メディカルクリニック予防医療センター　院長）

1-5-09　CAVI と動脈硬化危険因子との関連
○沼田　洋子　山本由起子　石井　雄一　小澤勢津子　詫間　紀子　八杉　晃則
株式会社日立製作所日立事業所日立健康管理センタ

1-5-10　当院人間ドック受診者における血管内皮機能障害に関連する動脈硬化危険因子の検討
○和泉　匡洋[1]　大嶋　有一[1]　大西　且訓[2]　佐々木信治[2]　吉田恭太郎[2]　石田　芳[3]
内田　輝美[3]　高木美智子[4]　斎藤　博[4]　高見　宏[5]
公立学校共済組合近畿中央病院　循環器内科[1]　公立学校共済組合近畿中央病院　臨床検査科[2]
公立学校共済組合近畿中央病院　看護部（人間ドック棟）[3]　公立学校共済組合近畿中央病院　健康管理センター[4]
公立学校共済組合近畿中央病院　総合診療科[5]

1-5-11　10 年間の喫煙が大血管スティフネスに及ぼす影響
○福井　敏樹　山内　一裕　松村　周治　丸山　美江　岡田　紀子
医療法人如水会　オリーブ高松メディカルクリニック　予防医療センター

1-5-12　肥満者における CAVI の検討
○馬嶋健一郎[1]　佐々木美和[2]　塚田　喜子[1]　中山　瑞[1]　江夏佑里子[1]　蔵本理枝子[1]
渡邉　真路[3]　鴇田　光代[4]　篠田　誠[3]　村木　洋介[1]
亀田メディカルセンター　健康管理科[1]　亀田メディカルセンター　超音波検査室[2]
亀田メディカルセンター　健康管理センター健康管理課[3]　亀田メディカルセンター　健康管理支援室[4]

1-5-13　眼底検査所見と動脈硬化に関連する健診結果との関係について
○田畑　正司　川上　尚子　魚谷　知佳　新田　千恵　木部　佳紀　古河　浩之
酒井　哲夫　崎山　優子　宮本由紀子　山下ゆみ子
一般財団法人　石川県予防医学協会

1-5-14　運送業の男性における頚動脈エコー所見と動脈硬化関連因子の検討
○原田　健[1]　福田　洋[2]　三輪　真也[1]　脇神亜希子[1]　今井　真美[1]　山下眞理子[1]
高谷　典秀[1]　高谷　純司[1]　高谷　雅史[1]
医療法人社団　同友会[1]　順天堂大学　医学部　総合診療科[2]

肥満、メタボリックシンドローム①（口頭発表）第5会場（3F 中会議室302B）　【15:00～16:10】
座長：丹羽　利充（修文大学　学長）

1-5-15　ライフスタイルとメタボリックシンドローム新規発生：８年コホート研究
○開沼みなみ[1]　春山　康夫[2]　本井　正代[1]　加藤久美子[1]　平野　好絵[1]　高橋　理香[1]
植松　彩子[1]　工藤雄一朗[1]
医療法人社団　せいおう会　鶯谷健診センター[1]　獨協医科大学医学部　公衆衛生学講座[2]

1-5-16　思い出し法による 20 歳時の体重（BMI）およびその後の体重増加量と、現在の検査データとの関連（30 歳～ 50 歳代、職域男性）
○岩竹　麻希[1]　大竹　麻未[2]　村本あき子[2]　津下　一代[2]
愛知県健康づくり振興事業団[1]　あいち健康の森健康科学総合センター[2]

1-5-17　若年健診における高度肥満者への当院の取り組み～ 20 歳代と 30 歳代の比較～
○笹倉　渉
医療法人社団　霞山会　MY メディカルクリニック

1-5-18　人間ドックにおける尿 pH とその他の検査項目との関連に関する検討

○村松　典子[1]　平野亜希子[1]　影山　善彦[1]　片瀬　史朗[1]　長坂ゆみ子[1]　赤堀恵理子[1]
八木　郁美[1]　鈴木　美香[1]　福田　崇典[2]
社会福祉法人　聖隷福祉事業団　保健事業部　聖隷健康サポートセンター Shizuoka[1]　聖隷福祉事業団　保健事業部[2]

1-5-19　口腔チェックによる歯肉状態および清掃状態と肥満との関係

○花木　麻衣[1]　北原　嵩章[1]　諏訪　雅貴[1]　坂口　元雅[1]　別所　祐次[1]　木田　明[1]
小澤　謙二[1]　高橋　恭弘[2]　本下　正[2]　横地　隆[1]
トヨタ自動車株式会社　健康支援センターウェルポ[1]　トヨタ自動車健康保健組合[2]

1-5-20　メタボリックシンドロームを意識させる健診で役立つソフトについて

○水田　正能
安来市立病院

1-5-21　原発事故被災地（福島県）で、成人での、避難者（evacuee）と非避難者（non evacuee）における身体的影響の比較検討

○伊藤　順造
いわき市立総合磐城共立病院　人間ドック

受診勧奨・医療連携①（口頭発表）第 6 会場（3F 中会議室 302A）　【11:00 ～ 12:20】

座長：村田　雅彦（秋田赤十字病院部長　健診部長）

1-6-01　精密検査受診率向上の取り組み ～医療者からの直接受診勧奨と全員紹介状発行、追跡調査の効果～

○竹内まどか　茂木　雪江　光畑　桂子　平沼　ゆり　内藤　隆志
公益財団法人　筑波メディカルセンター　つくば総合健診センター

1-6-02　要精密検査・要治療者に対する受診勧奨の取り組み

○高橋　彰子　大畑　裕加　片瀬　則子　廣田こずえ　松山　薫　塩村　惟彦
佐橋　徹　古賀　震　遠山　和成
公益財団法人　SBS 静岡健康増進センター

1-6-03　受診勧奨方法における効果評価からがん検診精度管理を考える

○吉田　貴志　大渕　香織
新潟県厚生連　上越総合病院　健診センター

1-6-04　AI 予測モデル（機械学習）を用いた特定健診対象者のグループ分けとグループごとの通知介入効果の検証

○大江千恵子
全国健康保険協会福岡支部　企画総務グループ

1-6-05　要精密検査対象者（人間ドック）への受診勧奨の現状と今後の課題

○中村　由希　山田　晴香　松村　美紀　湧川　温子　須山　出穂　河口　正雄
佼成病院　健康管理室

1-6-06　病院併設型施設の電子カルテと武田グループ統一の健診システムの連携 － Excel を経由した情報共有・受診勧奨・統計処理

○花井　佑子[1]　田伏　洋治[1]　西川亜友美[1]　饗庭オリエ[1]　坪井　美加[1]　土屋　絵未[1]
武田　隆男[2]　武田　隆久[2]　武田　道子[2]　武田　隆司[2]
宇治武田病院　健診センター[1]　武田病院グループ[2]

1-6-07　院外で健康相談及びがん検診・人間ドック健診に対する受診勧奨を行うことの重要性

○菅野　みほ　伊藤美奈子　與那覇佳子　松本　明美　守岡　謙　津々楽泰江
前田貴愛人
横浜市立みなと赤十字病院　健診センター

1-6-08　PSA 検査の件数増加による泌尿器科への集患・実績

○木村　康平　清水　亨　川島　友洋
医療法人社団　愛友会　上尾中央総合病院　健康管理課

ロコモティブシンドローム・フレイル①(口頭発表)第6会場(3F 中会議室302A)　【14:00〜14:40】
座長：土屋　敦（医療法人社団相和会　渕野辺総合病院　理事長）

1-6-09　壮・中年の勤労者を対象とした身体の痛みと健康診断結果の関連性に関する研究

○脇本　敏裕[1]　斎藤　辰哉[1,2]　門利　知美[1,2]　矢島　大樹[2]　井上　雅子[2]
山中　義之[2,3]　藤本　壮八[2,3]　高尾　俊弘[1,2,3]
川崎医療福祉大学[1]　川崎医科大学附属病院健康診断センター[2]　川崎医科大学健康管理学教室[3]

1-6-10　立位バランス能とロコモ度テストの結果との関連 第二報 〜開眼片脚起立時間との横断的検討〜

○田中　健毅[1]　北山　幸子[2]　二宮　晴夫[1]　冨士　武史[3]
独立行政法人　地域医療機能推進機構　大阪病院　リハビリテーション科[1]
独立行政法人　地域医療機能推進機構　大阪病院　健康管理センター[2]
独立行政法人　地域医療機能推進機構　大阪病院　整形外科[3]

1-6-11　健診受診者のロコモ度テスト参加率の属性別傾向

○鮏川　裕之[1]　寺田総一郎[1,2]　泉田　良一[3]　溝口　勝己[4]　三浦　隆[5]　城田　俊夫[5]
山本　桂子[1]　山﨑　知子[1]　鈴木　俊雄[1]
江戸川病院　総合健診センター[1]　江戸川病院　内視鏡センター[2]　江戸川病院　慶友人工関節センター[3]
江戸川病院　リハビリテーション科[4]　アルケア株式会社[5]

1-6-12　40 〜 80 歳代に対するロコモ度テストの結果と身体活動の関連についての検討
−一泊二日人間ドック受診者を対象として−

○中山　美香[1]　中村よし子[1]　山本　昭彦[1]　宮原　隆成[1]　春日　好雄[2]
ＪＡ長野厚生連　長野松代総合病院　健康管理部[1]　ＪＡ長野厚生連　長野松代総合病院　診療部[2]

受診勧奨・医療連携②（口頭発表）第 6 会場（3F 中会議室 302A）　【14:40 〜 15:50】
座長：笹森　斉（社会医療法人財団仁医会　牧田総合病院健診プラザ Omori 院長）

1-6-13　当センターにおけるピロリ抗体検査を勧めるための工夫と除菌治療への取り組みについて

○東江　美香　野原　友子　與儀　綾子　新屋美奈理　大城　朋枝　シーラ千穂
清水　隆裕　兼城　邦昭　砂川　隆
社会医療法人敬愛会　ちばなクリニック　健康管理センター

1-6-14　当健診センターにおけるピロリ菌陽性者受診勧奨の取組み

○野村　典子　湯川　英男　岩橋　一樹　石水　恭子
社会医療法人黎明会　健診センター・キタデ

1-6-15　健康診断後要受診の判定を受けた病院職員の未受診の要因〜受診率向上に向けた対策の検討〜

○品川　淳子　齋藤冨士子　茂木　香里　今井　邦彦
独立行政法人　地域医療機能推進機構　群馬中央病院　健康管理センター

1-6-16　便潜血陽性者のさらなる精密検査受診率向上を目指して　～未受診者についての検討～

○池田　舞[1]　葛谷　洋子[1]　赤塚　紀子[1]　森山　美恵[1]　瀬谷　彰[1]　野村　幸史[2]
医療法人財団　慈生会　野村病院　予防医学センター[1]　医療法人財団　慈生会　野村病院[2]

1-6-17　高濃度乳房に対する乳癌の早期発見を目指して

○佐藤久美子　黒田　沙織　岩本　成未　持屋　笑子　福田　規何　阿比留友香
花田　秀幸　牛島　千衣　山永　義之
福岡和白総合健診クリニック

1-6-18　電話と手紙を合わせた受診勧奨導入の検証

○狩野　晃佑　坂巻　浩二　奥寺　梨恵　櫻井　雅美　牛窪佳緒理　狩野　澄代
八束富美子　正村　泰博　工藤　瑞穂　阿久澤まさ子
医療法人社団日高会　日高病院　健診センター

1-6-19　人間ドックにおける安全配慮による検査中止者の現状

○潮谷　豊美　江口みかる　盛川恵美子　緒方　康博
日本赤十字社熊本健康管理センター

呼吸器（口頭発表）第 7 会場（3F 小会議室 303+304）　【11:00 ～ 12:20】
座長：瀧澤　弘隆（一般財団法人柏戸記念財団ポートスクエア　柏戸クリニック　理事・顧問）

1-7-01　胸部 CT の有用性

○高橋　有香
武蔵野赤十字病院　健診センター

1-7-02　低線量肺がん CT 検診における診療放射線技師の結節影指摘率について

○川村　聡栄　山内紬起子　朝比奈真一　山村　大輔　村瀬　昌希　小林　秀行
社会福祉法人　聖隷福祉事業団　保健事業部　聖隷予防検診センター　放射線課

1-7-03　当施設および関連施設における肺がん CT 検診施設認定に向けての取り組み
～撮影条件の調査を中心に

○戸塚　美香[1]　鈴木　千晶[1]　影山　善彦[1]　畠山　雅行[2]　鈴木　美香[1]　堀場　公寿[1]
福田　崇典[3]
聖隷福祉事業団　聖隷保健事業部　聖隷健康サポートセンター Shizuoka[1]
東京都結核予防会・奈良産業保健推進センター[2]　聖隷福祉事業団　保健事業部[3]

1-7-04　検診で発見された肺がんならびに類縁疾患の既往検診歴から見た異常判定の有無

○山本　晃　酒井　邦夫　半藤　保　丸山　昌子　石黒久美子　村山　実
一般社団法人　新潟縣健康管理協会

1-7-05　呼吸機能が維持されている喫煙者の呼吸症状の臨床的意義

○川崎　有香[1]　長田　剛[1]　田邉　啓介[1]　森　規子[1]　横内美和子[1]　日高ゆかり[1]
安田　貢[2]　森　由弘[3]　厚井　文一[3]
国家公務員共済組合連合会　高松病院　検査科[1]　国家公務員共済組合連合会　高松病院　人間ドックセンター[2]
国家公務員共済組合連合会　高松病院　内科[3]

1-7-06　胸部要精密検査判定と呼び出しシステムの活用：3 年目の解析

○木村　達郎[1]　福本　真也[1]　森川　浩安[1]　中野　朱美[1]　大谷　恒史[1]　森崎　珠実[1]
岩倉　成華[1]　田中　史生[2]　河田　則文[1,3]　平田　一人[1,4]
大阪市立大学大学院医学研究科　先端予防医療学[1]　大阪市立大学大学院医学研究科　消化器内科学[2]
大阪市立大学大学院医学研究科　肝胆膵病態内科学[3]　大阪市立大学大学院医学研究科　呼吸器内科学[4]

1-7-07　**当院人間ドック受診が契機となって発見されその後特異な経過をたどった肺腺がんの１例**

○服部　宜裕[1]　高嶌　寛年[2]　圓山　聡[1]　服部　彩佳[1]　橋本　直樹[3]　脇本　旭[3]
宮本　亮[1]　奥原宏一郎[5]　吉福　良公[4]　西山　宗希[4]
庄原赤十字病院　内科[1]　庄原赤十字病院　外科[2]　庄原赤十字病院　総合診療科[3]
庄原赤十字病院　消化器内科[4]　庄原赤十字病院　循環器内科[5]

1-7-08　**５年前の胸部Ｘ線写真から診断し得たと思われるステージⅠＡ肺癌の１例**

○近藤　智雄
医療法人社団ちくま会　メディカルガーデン新浦安　総合健診センター

腎、尿路①（口頭発表）第７会場（3F 小会議室 303+304）　【14:00 ～ 15:00】
座長：足立　雅樹（埼玉医科大学病院　健康管理センター　センター長）

1-7-09　**尿酸低値は腎機能悪化に影響する**

○藤本　壮八　山中　義之　鎌田　智有　高尾　俊弘
川崎医科大学　健康管理学

1-7-10　**当院健診ｾﾝﾀｰの人間ドックで発見された腎がんおよび膀胱がんの検討**

○黒岩　厚夫[1]　谷村　正信[2]　豊嶋　光[3]　久米江里子[3]　福冨　裕佳[1]　竹村　彩[1]
宮嵜恵利子[1]　山崎真由香[1]　川村　冨紀[1]　蒲原　晋[1]
JA 高知病院 JA 高知健診センター[1]　JA 高知病院泌尿器科[2]　JA 高知病院検査科[3]

1-7-11　**腎石灰化症例の検討**

○遠藤真紀子　米本　智美　高森　行宏
（公財）田附興風会　北野病院　健康管理センター

1-7-12　**人間ドック受診者を対象とした尿路系悪性腫瘍検出における尿沈渣の有用性**

○弓狩　加恵[1]　和田　憲和[2]　竹久　佳子[1]　田中亜矢子[1]　文屋千恵子[1]　鈴木真由美[2]
楠葉　藍子[2]　太島　丈洋[2]　村上　典彦[2]　菊辻　徹[2]
公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院　総合保健管理センター　検査室[1]
公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院　総合保健管理センター[2]

1-7-13　**ドック受診者の CKD に関与する可能性のある因子について**

○中村　雄二[1]　美並真由美[1]　鈴木　順一[1]　野本　一臣[2]
霞が関ビル診療所[1]　東都クリニック[2]

1-7-14　**尿中微量アルブミン検査の導入検討**

○佐藤　操[1]　岡部　文雄[1]　下瀬　雅士[1]　渡邉　和彦[2]　寺坂　邦広[2]　増田　國次[2]
一般財団法人　大阪府結核予防会　相談診療所　臨床検査部[1]
一般財団法人　大阪府結核予防会　相談診療所　診療部[2]

国際セッション（口頭発表）第７会場（3F 小会議室 303+304）　【15:00 ～ 16:30】
座長：鏑木　淳一（医療法人社団三友会　あけぼの病院理事　健診部部長）

IS-01　**Ningen Dock as a standard model for prevention of Non Communicable Diseases in Bangladesh**

○Aleemuzzaman Sheikh[1]　Noriko Kinukawa[1]　A.H.M Enayet Hussain[2]
Khaleda Islam[2]　Abdul Alim[2]　Maleka Parveen[3]
Noriharu Katakura[4]　Aziz Sheikh[4]　Eriya Kitano[5]
Shuzo Yamamoto[5]
Department of Pathology, Nihon University School of Medicine[1]
Directorate General of Health Services, Ministry of Health and Family Welfare, Bangladesh[2]
Medicare Japan Diagnostic Center, Gazipur, Bangladesh[3]
Healthcare Company, Konica Minolta Inc., Japan[4]
Medical Excellence JAPAN, Japan[5]

IS-02 **Psychiatric stress can be associated with hypertension**

○ Junichi Kaburaki[1] Takao Matsuki[2]
Preventive Health Care Center Akebono Hospital[1]
Shin-akasaka Clinic[2]

IS-03 **Retrospective study of relationship between hyperuricemia and dyslipidemia in check-up participants and outpatients.**

○ Hiroko Shigemi[1] Michiko Imagawa[2] Tadashi Konoshita[2]
Tamotsu Ishizuka[2]
Respiratiory Medicine Universityof Fukui Hospital[1]
Univesity of Fukui Hospital[2]

IS-04 **Hemoglobin Affects Pulse Wave Velocity Significantly and Independently of Blood Pressure but Does not Affect Carotid Intima Media Thickness**

○ Kazuo Murakami
Department of Health Care and Preventive Medicine Matsuyama Red Cross Hospital

IS-05 **Uric acid, ferritin, and γ -glutamyltransferase can be informative in prediction of the oxidative stress**

○ Yasuhiro NISHIZAKI[1] Kanae ODA[1] Emiko KIKUCHI[1]
Tamae OGATA[1] Nana URATA[2] Chizumi YAMADA[1]
Noriaki KISHIMOTO[1] Akira KUBO[1] Naoaki ISHII[3]
Health Screening Center,Tokai University Tokyo Hospital[1]
Department of Clinical Health Science, Tokai University School of Medicine[2]
Department of Health Management, School of Health Science, Tokai University[3]

IS-06 **Smoking regulations in Japan from an international perspective**

○ René A.du Cloo Yuri Okabe
Roppopngi Avenue Clinic

IS-07 **Why sleep matters——health effects of sleep depriavation**

○ Yuri Okabe René du Cloo
Roppopngi Avenue Clinic

IS-08 **Evaluation of a multi-GTA blood test for measuring colorectal cancer associated GTAs in an average risk Japanese population**

○ Dayan Goodenowe[1] Vijitha Senanayake[1] Yasuyo Yamazaki[1]
Mamoru Satoh[2] Fumio Nomura[2]
Prodrome Sciences Inc.[1]
Division of Clinical Mass Spectromtry, Chiba University Hospital[2]

IS-09 **Factors infleuncing the choice of Physical Examination Institution in Taiwan**

○ Chia Chia Lin Chin Fu Kuo
Preventive Medicine Center, Taichung Tzuchi Hosptial

子宮、卵巣（口頭発表）第 8 会場（3F 小会議室 306+307）【11:00 ～ 12:20】
座長：半藤　保（一般社団法人　新潟縣健康管理協会　常任顧問）

1-8-01 **精度管理向上を目指した子宮がん検診の取り組み**

○亀井　一彦　宗明　誠治　菅原　裕人　大村　昌夫　神谷　知至　石川　廣記
医療法人社団相和会　みなとみらいメディカルスクエア

1-8-02　当院での子宮がん検診への LBC・HPV 検査導入の試みと課題

○志賀　朋子[1,2]　志賀　清彦[2]　菊池　式子[2]　東岩井　久[1,2]　米田　麻美[1]
石垣　洋子[1]　森山　紀之[3]　小澤　信義[4]
医療法人社団　進興会　せんだい総合健診クリニック[1]　アネックス仙台ラボ[2]　医療法人社団　進興会[3]
おざわ女性総合クリニック[4]

1-8-03　近年当科で経験した子宮頸がん検診を契機に発見された子宮体癌（子宮内膜癌）9 症例の検討

○植田　敏弘[1]　石原真理子[2]　安藤　正明[3]
倉敷成人病健診センター[1]　倉敷成人病センター　病理診断科[2]　倉敷成人病センター　産婦人科[3]

1-8-04　子宮頸部軽度異形成の追跡診成績

○丸山　昌子　半藤　保　石黒　義隆　小川　弘良　金田由美子　筧　映里
村山　実
一般社団法人　新潟縣健康管理協会

1-8-05　新潟縣健康管理協会における従来型塗抹細胞診検体と液状細胞診検体の子宮頸がん検診成績の比較検討

○石黒久美子　半藤　保　石黒　義隆　小川　弘良　丸山　昌子　金田由美子
筧　映里　村山　実
一般社団法人　新潟縣健康管理協会

1-8-06　健診センターにおける LBC 法を用いた子宮頸がん検診　～従来法との比較を中心に～

○永井　美江[1,2,3]　仲西　菜月[2]　三村　尚代[1]　日向　正美[1]　大石　恵[1]
五十嵐清子[4]　長澤　美和[3]　西内　正樹[3]　長澤　秀和[3]　鈴木　光明[5]
代々木病院健診センター[1]　名古屋大学医学部　産婦人科[2]　エヌ・ケイ・クリニック[3]
病体生理研究所　検査部[4]　新百合ヶ丘総合病院　がんセンター[5]

1-8-07　人間ドックオプション骨盤部 MRI を用いた骨盤内臓脱の予測因子の検討：骨盤底加齢の画像診断学的評価

○奥田　逸子[1,2]　吉岡　直紀[1]　縄野　繁[1]　秋田　恵一[2]　煎本　正博[3]　太田　博明[4]
国際医療福祉大学三田病院　放射線診断センター[1]　東京医科歯科大学　臨床解剖学分野[2]　イリモトメディカル[3]
国際医療福祉大学山王メディカルセンター　女性医療センター[4]

1-8-08　女性の年齢別、分娩回数別尿漏れの頻度

○筧　映里　半藤　保　金田由美子　廣川　美樹　丸山　昌子　石黒　義隆
小川　弘良　村山　実
一般社団法人　新潟縣健康管理協会

飲酒・喫煙（口頭発表）第 8 会場（3F 小会議室 306+307）　【14:00 ～ 14:30】
座長：中村　正和（公益社団法人 地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター　センター長）

1-8-09　男性喫煙者のブリンクマン指数と 6 年間の呼吸機能 1 秒率の変化

○本井　正代[1]　工藤雄一朗[1]　植松　彩子[1]　高橋　理香[1]　平野　好絵[1]　春山　康夫[2]
医療法人社団せいおう会　鶯谷健診センター[1]　獨協医科大学医学部公衆衛生学講座[2]

1-8-10　最新のエビデンスに基づいた病院職員を対象にした禁煙治療の試み
～健保組合とコラボした充実治療メニューの提供と効果の検討～

○中村　正和[1]　増居志津子[1]　川畑　輝子[1]　山口　幸代[2]　高山　結花[2]　高橋麻衣子[2]
中野　博美[2]　杉田　義博[2]　山田　隆司[2]
公益社団法人　地域医療振興協会　ヘルスプロモーション研究センター[1]　台東区立台東病院・老人保健施設千束[2]

1-8-11　当センターにおける「アルコール使用障害スクリーニング」の集計結果から

○山崎　緑　信太　照美　清水　正子　畑中　美幸　小西　佳絵　西村　晃
浜田　正行　作野　功典
三重県厚生連　鈴鹿中央総合病院　健診センター　オリーブ

脳、神経、認知症（口頭発表）第 8 会場（3F 小会議室 306+307）　【14:30 ～ 15:40】
座長：天野　隆弘（国際医療福祉大学　医学部　教授／山王メディカルセンター　名誉院長）

1-8-12　脳ドック受診者の深部皮質下白質病変に及ぼす年齢と血圧管理の影響

○明石　侑子[1]　後藤　善則[1]　新多　寿[2]　村松　直樹[2]　吉田　優也[2]　朝日　ゆり[1]
川岸由里子[1]　高　香織[1]　横川美穂子[1]　村上　眞也[1]
小松市民病院　健診センター[1]　小松市民病院　脳神経外科[2]

1-8-13　‘ 正常者 ’ における “ 白質病変 ” 出現に関する研究－経過からの検討－

○伊藤　暖[1]　荒井　孝子[1]　松浦　明美[1]　西山こころ[1]　東野　定律[2]　武田　英孝[3]
池田　俊也[4]　天野　隆弘[3,4]
静岡県立大学　看護学部[1]　静岡県立大学　経営情報学部[2]　山王メディカルセンター[3]
国際医療福祉大学　医学部[4]

1-8-14　当院脳ドック受診者における深部皮質下白質病変と危険因子との関連

○中村加奈子[1]　沼田　守[1]　伊藤　真矢[1]　坂崎　由美[1]　丹羽　哲也[1]　高橋　志織[1]
高宮　浩一[1]　上原　晋[1]　安田　武司[2]
トヨタ自動車株式会社　トヨタ記念病院　健診センター[1]　トヨタ自動車株式会社　トヨタ記念病院　神経内科[2]

1-8-15　当院での脳ドックの現状と課題

○折口　秀樹
地域医療機能推進機構　九州病院　健康診断部

1-8-16　脳ドック MR angiography における読影精度の検討　未破裂脳動脈瘤発見率の比較

○今泉　陽一[1,2]　近　貴志[1]　熊丸　裕也[1,2]　栗原英由樹[2]　阿原　孝之[2]
東谷　保子[2]　高村　徹[1,2]　瀬田　健博[2]　古川　良幸[1]
医療法人社団葵会　AOI　国際病院[1]　医療法人社団葵会　AOI　国際病院健康管理センター[2]

1-8-17　頭部 MRA 撮影時におけるメタルアーチファクトに対して追加撮像が有効であった 1 例

○廣瀬　敏明[1]　上田つた子[1]　橋本　昭利[1]　跡部　優[2]　石川　優子[2]　山崎　駿[2]
中嶌　一彦[1]　岡村　雅雄[2]
社会医療法人愛仁会　カーム尼崎健診プラザ[1]　社会医療法人愛仁会　愛仁会総合健康センター[2]

1-8-18　人間ドックの上部消化管内視鏡検査後に一過性全健忘を来した 3 症例

○小杉　理恵[1]　山田　悟[1]　内野　章子[2]　飯ケ谷美峰[2]　中野　雅[1]　常松　令[1]
北里大学　北里研究所病院　予防医学センター[1]　北里大学　北里研究所病院　神経内科[2]

保健指導全般①（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【11:00 ～ 12:20】
座長：折津　政江（日本赤十字社医療センター　健康管理センター）

1-10-01　人間ドックにおける糖負荷試験実施者への生活指導によるスタッフのスキル向上への取り組み

○清野紗央里　横田　欽一　武田　寛樹　端　百恵　柿崎　郁美　志目知英美
吉田　良子　吉田　遼平
慶友会　吉田病院

1-10-02　推定食塩摂取量からみた血圧管理の保健指導

○麻生久美子　小野　順子　磯部　恵　板井恵津子　松本　泰祐
社会医療法人財団　天心堂　健診・健康増進センター

1-10-03　当院における経年的な保健指導の効果について

○松久　未来　松澤　範子　中島　直美　中山由里子　梶川　歩美　野老由美子
高橋　麻美　森山　優　中川　一美　中川　高志
医療法人　大宮シティクリニック

1-10-04　一日ドックにおける保健師・看護師による保健指導効果の検証

○大山　香代　岸　妙枝　瀬間さなえ　竹浪裕見子
公立昭和病院　予防・健診センター

1-10-05　健康学習会での運動教室の内容に関する検討

○吉田　静絵[1]　加藤　京子[1]　瀬戸口恵子[1]　松本　重美[1]　丸茂　貴子[1]　菅原　哲也[1]
金子　昌弘[1]　大畠　利彦[1]　小堀　悦孝[1]　吉兼　直文[2]
公益財団法人　東京都予防医学協会[1]　トヨタ自動車株式会社　ウェルポ[2]

1-10-06　グループ職員の健診後事後指導による支援

○羽田野今日子[1]　長谷部靖子[2]　西山　里枝[1]　黒川　泰伸[1]　渡邉　早苗[2]
八木　完[2]
医療法人順風会　順風会健診センター　産業保健支援室[1]　医療法人順風会　順風会健診センター　診療部[2]

1-10-07　内臓脂肪測定検査を行い生活習慣の改善に継続的に取り組んだが、内臓脂肪面積減少に至らなかった受診者の思い

○福島　貴子　栗山　功　加藤美由貴　村澤　歩
昭和伊南総合病院　健診センター

1-10-08　健診同日に食後血糖検査を実施して

○佐志　安子　明間　勤子　姫野　秀朗　田中　静子　古賀　睦実　加藤　智美
山口　純子　喜田　明子　鈴木　清美　相馬　純子
公益財団法人　藤沢市保健医療財団　藤沢市保健医療センター

特定保健指導①（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【14:00 ～ 15:00】

座長：津下　一代（あいち健康の森健康科学総合センター　センター長兼あいち介護予防支援センター長）

1-10-09　食事の速度と腹囲に関して　一般社団法人日本健康倶楽部約 60 万人のデータから

○山口　宏茂
一般社団法人日本健康倶楽部和田山診療所

1-10-10　特定保健指導初回面談の実施時期別成果の検討

○小川　美咲　伊藤　恭子　中島　麻衣　石川佳奈美　飛田　綾　河合　茜
佐藤さとみ　川上　恵美　内藤　安子　加藤　智弘
東京慈恵会医科大学　総合健診・予防医学センター　新橋健診センター

1-10-11　特定保健指導初回面談における個別支援とグループ支援の指導効果の比較

○竹内あかね[1]　本井　正代[1]　工藤雄一朗[1]　植松　彩子[1]　高橋　理香[1]　平野　好絵[1]
春山　康夫[2]
医療法人社団　せいおう会　鶯谷健診センター[1]　獨協医科大学医学部公衆衛生学講座[2]

1-10-12　特定保健指導を振り返る
～平成 20 年度から平成 27 年度までの特定保健指導修了者の結果・記録から～

○両角さゆり　佐藤まり子　滝沢　文枝　川島　典子　小林　梓　吉澤　徹
組合立　諏訪中央病院　ドック健診センター

1-10-13　特定保健指導初回面接当日実施に向けた医師面接による階層化の試み

○高木　重人[1]　佐藤　元美[2]　中嶋加代恵[2]　梅津　雅夫[1]　石川　公[1]　庄田　昌隆[1]
原田　弘秋[1]　田茂和歌子[1]　横山　修[3]　田口　春英[3]
船員保険健康管理センター　医局[1]　同　保健指導室[2]　同　運営部[3]

1-10-14　当院における特定保健指導実施の経験－開始後 3 年間の受診者 10,922 例を対象とした解析－

○森　尚子　野坂　麻美　澤田美千代　栢木　聡子　吉澤　浩司　鍵本　修
医療法人　広島健康会　アルパーク検診クリニック

受診者サービス②（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【15:00 ～ 16:30】
座長：髙田　幹夫（髙田労働衛生コンサルタント事務所　所長）

1-10-15　マーケティング手法を用いた人間ドックインターネット予約運用の効果

○笠原　典彦　伊藤　孝　原田　雅子　阿部　幸洋　伊藤　剛　渡邉　智恵
一般財団法人芙蓉協会　聖隷沼津健康診断センター

1-10-16　検査リスク管理機能導入による業務改善の取り組み

○中島　香織　鈴木麻由美　平　真子　堀木亜紀子　濱岡　才子　宮崎　祐子
福井　秀之　橘　宏　高梨　芳彰　丸中　良典
一般財団法人京都工場保健会　総合健診センター

1-10-17　当施設選択理由に関する実態調査報告

○諸星　恵[1]　谷村　亜矢[1]　波木　清香[1]　小森　信子[2]　八子　剛[1]　松岡　賢祐[1]
中村　恭子[1]　松木　隆央[1]
新赤坂クリニック[1]　横浜北幸クリニック[2]

1-10-18　タブレットによる誘導支援と受診者サービスの導入

○戸梶　由香[1]　芳野　純治[1]　石垣　美樹[1]　間瀬　貴文[1]　毛利やよい[1]　前田　健吾[2]
中村　吉郎[2]　松下　智久[3]
医療法人　松柏会　大名古屋ビルセントラルクリニック[1]　医療法人　松柏会　国際セントラルクリニック[2]
株式会社ホスピタルネット[3]

1-10-19　受診者満足度調査～結果と課題～

○千葉　暢子　吉田　寧　海野　均
社会医療法人中山会宇都宮記念病院総合健診センター

1-10-20　人間ドックにおける看護ケアの評価～看護満足度調査を通して～

○長谷川智美　齋藤　未来　露木　久美　石川裕理子
NTT 東日本伊豆病院　看護部　健診センター

1-10-21　スピードドック実施報告　－時間を有効活用したい利用者の声に応えてー

○和出　郁美　大石佳乃子　内山　香織　宮地　結香　川嶋はる奈　小山えりな
太田　陽子
社会福祉法人聖隷福祉事業団　聖隷予防検診センター　顧客サービス課

1-10-22　日々の意識改革から受診者満足の向上へ～思いやりを形に～

○加藤　梨帆[1]　村木　洋介[2]　中村　充利[1]　金山　美紀[1]　荒井　玲子[1]　落合　駿[4]
高坂　美波[4]　齊藤　寛弥[4]
亀田クリニック　健康管理センター　健康管理課[1]　亀田総合病院　健康管理科[2]
亀田クリニック　看護室　健康管理支援室[3]　亀田総合病院　医療技術部　超音波検査室[4]

1-10-23　当センターにおける心電図誘導間違い防止についての取り組み

○槇尾　有華　東谷　渚　遠藤姫花里　柴田えりこ　柳田　俊一　光宗　皇彦
井上　和彦　清水　信義
一般財団法人淳風会　淳風会健康管理センター

受診者サービス①（口頭発表）第 11 会場（1F 展示ホール B 特設会場 2）　【11:00 ～ 12:30】
座長：日野原茂雄（新赤坂クリニック　副院長）

1-11-01　上部消化管内視鏡検査の稼働率を上げるために
（キャンセル待ちの有効性と受診者サービスの向上を検討）

○森田　良子　原　麻美代　庄原　照美　大島しのぶ　宗明　誠治　富塚　道則
大村　昌夫　神谷　知至　亀井　一彦　石川　廣記
医療法人社団相和会　みなとみらいメディカルスクエア

1-11-02　働き方改革～インカムの導入～

○藤原　亜紀　小橋　祥子　蘆田　陽子　早苗　清香　稲谷　梓　森脇寿美子
大橋由美子　西川　晋史　伊東　香代　山本　正之
神鋼記念病院付属　新神戸ドック健診クリニック

1-11-03　大腸内視鏡検査前説明の工夫～安心・安全な自宅飲用にむけての取り組み～

○高宮江利子　小橋川広美　呉屋みなみ　桃原　勝美　石川　礼子　山内　敦子
奥島しょう子　大城　志乃　謝花　隆光
社会医療法人　かりゆし会　ハートライフ病院　予防医学センター

1-11-04　iPad を用いた胃 X 線検査の説明動画導入効果の検討

○阿久津加奈　佐々木恵理子　佐藤奈雄子　山内　雅子　神應　知道　高木　敏
医療法人社団　新町クリニック

1-11-05　当センターのオプション検査について

○熊谷　広嗣　江橋　敏男　安東　奈美
社会福祉法人　恩賜財団　龍ケ崎済生会済生会病院　総合健診センター

1-11-06　受付時間短縮を目指した業務改善

○林　好美　原　育恵　立花　舞子　田中ひかり　中道香寿美　小島　寛子
西川慶一郎
社会医療法人生長会　府中クリニック

1-11-07　人間ドック利用者の満足度向上を目指して

○花岡　まり[1]　藤川　史子[1]　江場　巌子[1]　小神　恵子[1]　木村　佐衣[1]　石田　芳[1]
内田　輝美[1]　大嶋　有一[2]　斎藤　博[2]
公立学校共済組合　近畿中央病院　人間ドック棟[1]　公立学校共済組合　近畿中央病院　健康管理センター[2]

1-11-08　人間ドック受診者に対する食事サービスにおける満足度向上への取り組み

○府中　七恵　清水不二雄　稲葉　有紗　石黒久美子　山本　晃　小山　麻美
西脇　沙織　五十田　遙　村山　実
一般社団法人新潟縣健康管理協会　健診部　健康増進課

1-11-09　婦人科診察室 2 列体制導入による受診者満足度評価の変化

○小田夏奈江[1,2]　西泊　景子[1]　新井さやか[1]　齊藤　真澄[1]　川上　里佳[1]　石田　恵美[1]
奥脇　淳夫[1]　西崎　泰弘[2]　岩瀬　博之[1]　笹森　斉[1]
社会医療法人財団　仁医会　牧田総合病院人間ドック健診クリニック[1]　東海大学医学部基盤診療学系健康管理学[2]

一 般 演 題
（口頭発表）

プログラム

２日目　８月 31 日（金）

演題番号

例：**2-2-01**

期　日
1：1 日目
2：2 日目

会場

2日目（8月31日（金））

保健指導全般③（口頭発表）第２会場（2F 中会議室 201）　【14:00 ～ 15:00】
座長：小松　淳子（日本赤十字社医療センター　健康管理科　部長）

2-2-01　大規模健診データを用いた生活習慣の問診結果と各判定の有所見率との関連性に関する解析
○山本　茂　折茂　淳　美原　恒　山口　宏茂　小笠原恒驥　下総美奈子
高橋　弘　倉野彰比古　山元　紀子　佐守　友博
一般社団法人　日本健康倶楽部

2-2-02　低アディポネクチン血症の改善を目指した生活習慣の分析
○村上　光　吉田　明世　當麻　康弘　井上　悦子　高尾　祐治　菅　守隆
済生会熊本病院　予防医療センター

2-2-03　ピロリ菌検査と除菌治療の受診説明をした効果の検証～看護師による個別対応の評価～
○竹田　慶子　須田　陽子　吉澤　和哉　田崎　和之　堀川久美子　近　麻衣子
長谷川美代子　石黒　香織　藤田美智子
済生会新潟第二病院　検診センター

2-2-04　健診施設における健康相談（保健指導）の効果の検討～健康相談による受診者のデータ変化～
○富士岡　幸　久保田絵美　伊林　聡美　小林　伸行　土屋　敦
医療法人社団　相和会　相模原総合健診センター

2-2-05　巡回健診による特定健康診査を受診した被扶養者に対する食生活講話と個別健康相談の取り組み
○中嶋加代恵　岩瀬恵理子　ジョイナー利沙　佐藤　元美　青木麻美子　渡邉　麻美
高木　重人　庄田　昌隆
船員保険健康管理センター

2-2-06　人間ドック受診女性におけるヘモグロビン濃度低値者の特徴と対応
○北山　梨恵[1]　日置　敦巳[1,2]　南　芳子[1]　細川　寿子[1,2]　河合　壽一[1,2]
林　慎[1,2]
まつなみ健康増進クリニック　人間ドック健診センター[1]　松波総合病院　内科[2]

受診者サービス④（口頭発表）第２会場（2F 中会議室 201）　【15:00 ～ 16:00】
座長：森山　優（医療法人 大宮シティクリニック　副院長）

2-2-07　上部消化管造影検査時の苦痛に対する性別差についての検討
○池上　真士[1]　渡邉佐知子[1]　富高　智成[2]　石垣　陸太[2]　森口　次郎[1]　細見　聡[1]
大地　邦彦[1]　吉良　康男[1]　辰巳　哲也[1]
一般財団法人　京都工場保健会[1]　京都医療科学大学[2]

2-2-08　胃Ｘ線検査におけるリスク管理　第４報
～自動肩当装置の導入によるメリット・デメリット～
○坂野　拓也[1]　飯塚　明久[1]　望月　久光[1]　松村　和典[1]　高橋直太郎[2]　中村　恭子[3]
松木　隆央[3]
新赤坂クリニック　放射線科[1]　横浜北幸クリニック　放射線科[2]　新赤坂クリニック　医師[3]

2-2-09　胃バリウム検査における待ち時間の推移と今後の課題
○杉沢　猛[1]　本郷　嘉史[1]　前原　崇[2]　佐藤　夏子[2]
一般財団法人　船員保険会　品川シーズンテラス健診クリニック[1]　運営部　健診業務課[2]

2-2-10　接遇レベルの統一と向上に向けた取り組み

○渡邊久美子　助川　薫　吉岡　裕子　小田倉　章　増澤　浩一　内藤　隆志
公益財団法人筑波メディカルセンター　つくば総合健診センター

2-2-11　育児で健診難民となっているママ世代への新サービス

○中家　照雅　濱西　理恵　馬場　千絵　菅野　武司　田中　美伸　井上　和彦
春間　賢　清水　信義
一般財団法人淳風会　淳風会健康管理センター

2-2-12　検査着リニューアルへの取り組み

○寶川　歩　上森　彩乃　岡　結希　大角　博久　安木　美穂　藤本　裕子
清水　倫子　井上　和彦　清水　信義
一般財団法人淳風会　淳風会健康管理センター

消化器（上部消化管）③（口頭発表）第３会場（3F 中会議室 301B）　【8:30 ～ 10:00】
座長：熊倉　泰久（聖路加国際病院附属クリニック　予防医療センター　消化器内科　医長）

2-3-01　胃 X 線検査時における発泡顆粒の服用方法及び製剤の違いが及ぼす影響

○古川　勝治　田中　芳生　西野　文郎　大和　栄一　長谷川江里奈　跡部　優
石川　優子　井関　一高　杉林　稔　岡村　雅雄
社会医療法人　愛仁会　愛仁会総合健康センター

2-3-02　上部消化管造影検査（胃 X 線検査）における発泡剤 2 分割投与における受診者の苦痛軽減についての検討

○清澤　真人　成田　政広　清水　正雄　足立　雅樹
埼玉医科大学病院　健康管理センター

2-3-03　頭低位腹臥位二重造影法における「両肩当て・左向き」手技の成績

○數納　優希[1]　吉田　諭史[1]　中村祐二朗[2]　土佐　岬[1,2]　新島　友輝[2]　有本　ゆり[1,2]
島田　泰富[1,2]　杉野　吉則[1]　岩男　泰[1]
慶應義塾大学病院　放射線技術室　予防医療センター[1]　慶應義塾大学病院　放射線技術室[2]

2-3-04　上部消化管検査時のバリウム誤嚥への対応の取り組み

○栗原那奈子　齊藤　弥穂　中多　依子　佐保埜弘子　松本　京子　清水　岳史
寺本　真美　桂　久美子　藏本理津恵　松尾　茂
高の原中央病院　人間ドックセンター

2-3-05　胃透視における医療安全とサービス向上への取り組み

○鈴木由美子　若林　努　小菅　綾子　三浦　智美　吉田　優子
東京西徳洲会病院　健康管理センター

2-3-06　上部消化管Ｘ線検査における“偽陽性症例”の原因を探り検討する

○西戸　伸之　森山　真帆　三島　久典　中谷　紋子　宇野　正人　鈴木　貞男
松原　明夫　黒島　俊夫　今岡　渉
一般財団法人関西労働保健協会

2-3-07　検診発見胃癌に対する追加撮影の有効性検討

○渡邊　純子[1]　今井　俊一[1]　馬場　保昌[2]　大塚　博紀[3]
医療法人社団進興会　立川北口健診館アネックス[1]　医療法人社団進興会[2]
社会医療法人財団石心会さやま総合クリニック健診センター[3]

2-3-08　胃X線検査における萎縮性胃炎・ヒダ肥厚と胃癌発症との関連

○島本　武嗣[1]　山道　信毅[1,2]　岡田　実[1]　和田　亮一[1]　光島　徹[1]
亀田メディカルセンター幕張[1]　東京大学医学部消化器内科[2]

2-3-09　検診の上部消化管造影検査受診者からみた胃・食道憩室の頻度

○春間　賢[1]　大角　博久[1]　松尾　浩二[1]　井上　和彦[1]　市場　俊雄[1]　久本　信實[3]
清水　信義[1]　眞部　紀明[4]　角　直樹[5]　鎌田　智有[5]
淳風会健康管理センター[1]　川崎医科大学総合医療センター総合内科2[2]　淳風会ロングライフホスピタル[3]
川崎医科大学総合医療センター中央検査科（内視鏡・超音波）[4]　川崎医科大学総合医療センター健康管理学[5]

ヘリコバクター・ピロリ②（口頭発表）第３会場（3F 中会議室 301B）　【10:00 ～ 11:30】
座長：鎌田　智有（川崎医科大学総合医療センター　健康管理学　教授）

2-3-10　血清ピロリ抗体価とX胃X線検査による胃粘膜萎縮

○西荒井宏美
医療法人社団　誠馨会　千葉メディカルセンター

2-3-11　背景粘膜評価による Helicobacter pylori 感染予測

○坪内　秀生　矢部　雅己　尼子　良久　佐藤　眞
一般財団法人芙蓉協会　聖隷沼津健康診断センター

2-3-12　Helicobacter pylori 除菌者における除菌前後の胃X線検査画像所見（第２報）

○中野　理果　酒井　純子　高多　伸哉　鈴木ひとみ　大森由美子　佐藤　明
（公益財団法人）佐々木研究所附属湘南健診センター

2-3-13　胃X線検査で慢性胃炎と診断された受検者に対するピロリ菌検査推奨方法の検討

○藤原　祥子　八田　悦子　大槻　安代　景山　修二　青木　彰　福田　彰
後山　尚久
大阪医科大学　健康科学クリニック

2-3-14　人間ドック受診者に対し内視鏡スクリーニング検査での H. ピロリ菌感染胃炎診断と除菌治療誘導への実際

○池田　聡　岡村　博文　宮城　康子　飯野　正敏
池田病院　健康管理センター

2-3-15　40 才以上の受診者におけるピロリ菌と胃がん・胃がん検診に関する意識調査

○保坂　薫子　佐藤真喜子　佐々木留美子　一関　智子　川井美代子　高橋　典子
宮崎　昌子　三森加奈子　相良　志穂　飯塚　政弘
秋田赤十字病院　附属あきた健康管理センター

2-3-16　H.Pylori 感染胃粘膜画像診断から１年人間ドック受診者のピロリ菌検査と除菌　意識度調査

○島田　雅彦　藤田　充秀　佐藤　美保　菅谷　益巳　釜屋　憲司　川又　誠
塙　総子　羽鳥　美奈　市川　飛翼　飯田　綾香
茨城県済生会　水戸済生会総合病院　健診センター

2-3-17　改訂 F スケールを用いた H.　pylori 除菌前後の症状変化の検討

○藤原菜美子[1]　高木　順子[1]　花畑　弥生[1]　前田　貞則[1]　須床　和恵[1]　芹澤　洋輔[1]
菊池　保治[2]
聖隷沼津健康診断センター[1]　沼津市立病院健康管理課[2]

2-3-18　ピロリ菌検査勧奨を契機に発見された若年者早期胃癌の 1 例

○東山　泰成　　迫田　　敏　　中平　孝明　　林　　克裕
宮崎県済生会　日向病院

肝臓②（口頭発表）第 3 会場（3F 中会議室 301B）　【14:00 ～ 14:50】
座長：西﨑　泰弘（東海大学医学部付属東京病院　病院長）

2-3-19　当院人間ドックにおける HCV 抗体陽性例の検討

○赤池　　淳[1]　西園　雅代[1]　小川　秀久[1]　平塚　正幸[1]　今村　哲理[1]　髭　　修平[2]
JA 北海道厚生連札幌厚生病院　健康管理科[1]　JA 北海道厚生連札幌厚生病院　肝臓内科[2]

2-3-20　当健診センターにおける HBs 抗原測定の陽性率ならびに陽性的中率の調査

○山下　計太　谷仲　一郎　増澤　浩一　渡部　充恵　長峯　正流　中村　浩司
平沼　ゆり　小田倉　章　内藤　隆志
公益財団法人筑波メディカルセンター　つくば総合健診センター

2-3-21　非アルコール性脂肪性肝疾患 / 非アルコール性脂肪肝炎関連危険諸因子に関する健診結果からの横断的・縦断的検討

○野口　文佳　小林　信子　土屋　則子　山本　　晃　清水不二雄　加藤　俊幸
村山　　実
（一社）新潟縣健康管理協会

2-3-22　健診における肝臓での超音波減衰率の検討

○森川　浩安　福本　真也　木村　達郎　中野　朱美　大谷　恒史　森崎　珠実
上村　理沙　河田　則文
大阪市立大学大学院医学研究科　先端予防医療学

2-3-23　人間ドック腹部超音波検査において発見された肝細胞腺腫の一例

○矢川　智仁[1]　松本　康子[1]　原　　均[1]　長崎孝太郎[1]　橋本　泰司[2]　阿座上隆広[2]
医療法人　厚生堂　長崎病院ヘルスケアセンター[1]　国家公務員共済組合連合会　広島記念病院[2]

腹部エコー（口頭発表）第 3 会場（3F 中会議室 301B）　【14:50 ～ 15:40】
座長：水間　美宏（東神戸病院　内科）

2-3-24　腹部超音波検査 25 枚撮り標準化への試み

○片山　和弥[1]　松本　直樹[2]　小川　眞広[2]　五ノ井　渉[3]　植松　彩子[1]　高橋　理香[1]
平野　好絵[1]　村松　和美[1]
医療法人社団　せいおう会　鶯谷健診センター[1]　日本大学医学部消化器肝臓内科[2]　東京大学医学部付属病院[3]

2-3-25　当院人間ドックにおける腹部超音波検査の成績について

○櫻井　沙綾[1]　田上　展子[1]　川端　　聡[1]　植田　洋子[1]　金沢　直美[1]　津村　京子[1]
榎木雄美子[1]　仙崎菜々恵[1]　藤本　　敬[2]　宮脇　昌美[2]
一般財団法人　住友病院　診療技術部　超音波技術科[1]　一般財団法人　住友病院　健康管理センター[2]

2-3-26　腹部超音波検査の臍部横断走査による皮下脂肪厚測定とメタボリックシンドローム関連因子との関係

○神山　秋広　篠原　裕枝　中野　真宏
地方独立行政法人　新小山市民病院　予防医学センター

2-3-27　腹部超音波検査の受診者満足度の向上を目指して　受診者アンケート調査

○上森　心絵　久保田理子　齋藤久美子　鈴木　　淳　海野　　均
社会医療法人　中山会　宇都宮記念病院　総合健診センター

2-3-28　腹部超音波検査における精査受診後結果の報告と今後の課題

○新井　祐子　　砂井　里沙　　小池　里実　　吉川　廣和　　大竹　貴昭
医療法人財団　新生会　大宮共立病院　総合健診プログラム

肥満、メタボリックシンドローム②（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）　【8:30 ～ 9:50】
座長：杉森　裕樹（大東文化大学 スポーツ・健康科学部看護学科　学科長）

2-4-01　当院健康管理センターにおけるメタボリックシンドローム症例の検討～10年間の変化を含めて～

○久留島　仁　　松本　能里　　坂野　文香
広島赤十字・原爆病院　健診部

2-4-02　X 線 CT による内臓脂肪面積評価と書面指導の動機付け効果の検討

○水井　雅人[1,5]　田中　公[2]　笠井　智佳[2]　千田　豊[4]　作野　功典[3]　鈴木　彦次[2]
田城　孝雄[5]
鈴鹿回生病院　放射線科[1]　鈴鹿回生病院　内科・健康管理センター[2]　鈴鹿中央総合病院　健診センターオリーブ[3]
四日市健診クリニック[4]　放送大学大学院[5]

2-4-03　CT 評価による肝脂肪量とメタボリックシンドロームの関連

○道家　充[1]　田内　慎一[1]　塙　なぎさ[1]　横井　里美[1]　大芦　研輔[1]　上坂由美子[1]
浅野　嘉一[1]　米谷美智子[1]　浅地　亜衣[1]　山崎　大[2]
医療法人渓仁会　渓仁会円山クリニック[1]　京都大学大学院　社会健康医学系　医療疫学分野[2]

2-4-04　メタボリックシンドロームにおけるマルチプルリスクの検討：判定各項目と肝・腎機能、尿酸代謝、動脈硬化リスクとの関係

○菊地恵観子[1,2,3]　小田夏奈江[2,3,5]　山鹿　由莉[2,3]　尾形　珠恵[2,3]　後田　奈々[2,3]
行松　伸成[2]　山田　千積[2,3,4]　岸本　憲明[2,3,4]　西崎　泰弘[2,3,4]
せんだい総合健診クリニック[1]　東海大学医学部健康管理学[2]　東海大学医学部付属東京病院[3]
東海大学大学院医学研究科ライフケアセンター[4]　牧田総合病院健診センター[5]

2-4-05　人間ドック経年受診者における生活習慣病関連項目の異常数の推移の検討

○河面　聡　　佐藤　彩織　　眞弓　周子　　泉　由紀子　　大山摩佐子　　住谷　哲
藤岡　滋典　　佐藤　文三　　中村　秀次
公益財団法人　日本生命済生会　ニッセイ予防医学センター

2-4-06　高齢者の肥満－当センター受診者の検査結果からの考察

○石川　公　　高木　重人　　梅津　雅夫　　原田　弘秋　　庄田　昌隆　　山中　功一
船員保険健康管理センター

2-4-07　特定健診制度から表出された「非肥満者（隠れメタボ）」の実態
－危険因子保有率の特徴と推移－

○岡田　実[1]　島本　武嗣[1]　藤原　正則[1]　山下　巧一[1]　古川千津子[1]　新井千恵子[1]
森　里江[1]　和田　亮一[1]　光島　徹[1]　前田　隆[2]
亀田メディカルセンター幕張[1]　山形県立保健医療大学[2]

2-4-08　就寝 2 時間以内の食事摂取にみられる生活習慣の背景に関する検討

○佐藤　友美[1]　勝山　博信[2]
社会福祉法人同愛記念病院財団　同愛記念病院　健診センター[1]　川崎医科大学　公衆衛生学[2]

コンピュータシステム・ICT（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）【9:50 ～ 10:40】

座長：高木　重人（船員保険健康管理センター　センター長）

2-4-09　健診カルテの電子化による業務の効率化と受診者サービスの向上

○岡本　貴子　田淵　正登　中山　通代　藤井　久美　友野　一美　吉形　香織
岡山済生会昭和町健康管理センター　健診保健部

2-4-10　日医健診標準フォーマット・画像所見標準コード名称の妥当性について
－検診画像読影サービス施設での 27 万件の読影結果の検討－

○煎本　正博　煎本　雄一　白井　明子　遠山　祐樹　室屋　良孝　堀江　徹彦
坂田めぐみ　鈴木　孝夫
イリモトメディカル

2-4-11　健診システムとＰＡＣＳ・レポートサーバーとの連携

○鶴田　義人　康田　雅人　鏡味　幹弘　志賀　晃路　野澤　稔　深津　満
山田　珠樹
一般社団法人　岡崎市医師会

2-4-12　眼底遠隔読影の導入・システム連携の初期経験

○齊藤　弥穂[1]　藏本理津恵[1]　栗原那奈子[1]　藤原　充香[1]　長谷川　章[1]　松尾　茂[1]
庄野　智也[2]　阿野　浩明[3]　佐々木　信[4]　緒方　明[4]
新生会　総合病院高の原中央病院　人間ドックセンター[1]　伏見製薬株式会社[2]　オフィスフューチャー株式会社[3]
株式会社エスシーシー[4]

2-4-13　受診者データ一元管理の実現に向けたシステム入替えの取組－第２報－

○上間　由貴[1]　田面木貴洋[1]　阿部　信子[1]　瀬谷　彰[1]　野村　幸史[2]
医療法人財団慈生会　野村病院　予防医学センター[1]　医療法人財団慈生会　野村病院[2]

尿酸代謝（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）【10:40 ～ 11:20】

座長：山田　千積（東海大学医学部付属東京病院　講師）

2-4-14　健診データから見た腎性低尿酸血症の頻度と合併症に関する検討

○田中　謙二[1]　草場　公宏[1]　一矢　有一[1]　森田　一徳[1]　鴨井　逸馬[1]　桑原　康雄[1]
庄田　昌隆[2]
一般財団法人　船員保険会　船員保険福岡健康管理センター[1]
一般財団法人　船員保険会　船員保険健康管理センター[2]

2-4-15　職域健診受診者における高尿酸血症の頻度の年次推移

○塩　宏
鳥取赤十字病院　検査部

2-4-16　尿酸高値は非アルコール性脂肪性肝疾患発症の独立したリスク因子である

○原　茂子[1,2]　戸田　晶子[1]　大本　由樹[1]　辻　裕之[1]　斎藤　和美[1,3]
児玉　暁[1,3]　曽根　博仁[3]　荒瀬　康司[1]
虎の門病院　健康管理センター[1]　原　プレスセンタークリニック[2]　新潟大学内分泌代謝科[3]

2-4-17　健診で見られた原発性痛風と慢性関節リウマチの合併した女性例

○塩　宏[1]　岸　隆広[1]
鳥取赤十字病院　検査部[1]　整形外科[2]

睡眠時無呼吸症候群（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）　【14:00 ～ 15:00】
座長：三間　　聡（一般社団法人新潟県労働衛生医学協会　附属三条検診センター　所長）

2-4-18　人間ドック歯科検診受診者における、睡眠時無呼吸症候群の関係について
○小林　充典　　黒澤　　功
医療法人社団美心会　黒沢病院附属ヘルスパーククリニック　高崎健康管理センター

2-4-19　当センターにおける睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査の実施状況
○鈴木　綾乃[1]　土屋早誉佳[1]　波多野美智代[1]　山口かやの[1]　鈴木　晴彦[1]　竹内　淳子[1]
太田　直子[1]　内野明日香[2]
聖隷福祉事業団　保健事業部　聖隷健康診断センター　検査課[1]
聖隷福祉事業団　保健事業部　聖隷健康診断センター　医務課[2]

2-4-20　当会における睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査の検討－ Niigata Wellness Study －
○計良　政裕　鶴間　純　赤澤　道代　船浪　敦　丸山　智美　中山　卓也
小笠原美代子　金子　玲子　三間　聡
（一社）新潟県労働衛生医学協会

2-4-21　当センターにおける睡眠時無呼吸症候群簡易検査の検討
○根岸　純子[1]　福田　淳[2]　高柳美奈子[1]　眞崎　義隆[2]　楠目　健一[1]　久保田　亨[1]
石橋　見季[1]　井原　貴之[1]　田代　律子[1]　有田　誠司[1]
社会福祉法人　聖隷福祉事業団　聖隷佐倉市民病院健診センター[1]
社会福祉法人　聖隷福祉事業団　聖隷佐倉市民病院[2]

2-4-22　当院における運転業務従事者健診の成績報告とその課題
○菊池真由美　宇野稚香子　小田桐一美　林　浩美　大羽　一美　若林　園恵
高宮　浩一　上原　晋
トヨタ自動車株式会社　トヨタ記念病院　健診センター

2-4-23　健診機関において睡眠時無呼吸症候群を早期発見した１例の報告
～オプション検査の一つとしての簡易睡眠検査～
○鵜飼　美和[1]　古平　瑞美[1]　林　かおり[1]　佃　陽介[2]　松尾　知紀[1]
一般財団法人　日本予防医学協会　附属診療所　ウェルビーイング栄[1]　一般財団法人　日本予防医学協会[2]

乳腺②（口頭発表）第４会場（3F 中会議室 301A）　【15:00 ～ 16:00】
座長：諸田　哲也（一般社団法人新潟県労働衛生医学協会　新潟ブレスト検診センター）

2-4-24　乳がん検診に視触診は不要か？
○松浦　恵子　半藤　保　田辺　理子　山本　晃　渋谷千恵子　横山　綾
親松　夏紀　野本美和子　北見　悠　村山　実
一般社団法人　新潟縣健康管理協会

2-4-25　マンモグラフィおよび乳房超音波検査を経時的に受診した構築の乱れ症例の検討
○佐藤　泉　川野圭央里　立脇　麻里　藤村　聖子　原田　恵実　色摩　希美
田所佳奈子　山中　聡　野崎　浩二　林　建男
社会医療法人財団　石心会　アルファメディック・クリニック

2-4-26　乳房構成の理解を深めるための取り組み
～異常所見と捉えさせないために～
○廣瀬　真実　佐藤　理香　光畑　桂子　越川佳代子　東野英利子　内藤　隆志
公益財団法人　筑波メディカルセンター　つくば総合健診センター

2-4-27　マンモグラフィと乳房超音波併用検診の精度向上のための問題点

○緒方　恵美[1]　美濃　尚人[1]　西田　優子[1]　坂部　真希[1]　高橋久美子[1]　徳永かおり[1]
尾方　萌[1]　平川　実季[1]　守安真佐也[2]　松崎　秀幸[2]
大腸肛門病センター高野病院　総合健診センター　健康管理課[1]
大腸肛門病センター高野病院　総合健診センター　内科[2]

2-4-28　乳がん検診における認識度調査

○佐藤　美保　島田　雅彦　藤田　充秀　菅谷　益巳　釜屋　憲司　塙　総子
羽鳥　美奈　市川　飛翼　飯田　綾香　川又　誠
社外福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会水戸済生会総合病院

2-4-29　乳腺超音波検診にて発見された授乳期乳がん

○久保　美喜　迫　宜之　阪本　美紀　光永　雅美　木場　博幸　大竹　宏治
日本赤十字社熊本健康管理センター　検査部

動脈硬化②（口頭発表）第５会場（3F 中会議室 302B）　【8:30 ～ 9:20】
座長：渡辺　賢一（新潟大学大学院医歯学総合研究科　生活習慣病予防検査医学　特任教授）

2-5-01　試験紙法の微量タンパク尿は頸動脈硬化と関連している。

○星野　留里[1,2]　白田　康代[1,2]　竹市　泉[1,2]　芳野　純治[1,2]　前田　健吾[1,2]
国際セントラルクリニック[1]　大名古屋ビルセントラルクリニック[2]

2-5-02　脳ドックで脳主幹動脈狭窄を指摘されたのちの動脈硬化リスクの改善について

○大野　正弘[1]　松佐古　敬[1]　白木　茂博[2]　立松　晃[3]　鈴木　正之[2]　中山　善秀[2]
山田　尚史[2]　福原加代子[1]　近田　知鈴[1]
中日病院　健診センター[1]　中日病院　内科[2]　中日病院　外科[3]

2-5-03　健康診断における検査異常パターンを用いた加齢加速度および老化年齢の推定

○平井　学
公益財団法人　高知県総合保健協会

2-5-04　高感度 CRP と nonHDL コレステロールの関係

○内野　紗恵　吉野貴美子　石田　香織　大前　由美　大前　利道　沼本美由紀
新浦安虎の門クリニック

2-5-05　人間ドック受診者における脂肪肝と脂質関連因子および動脈硬化の検討

○水野　由子[1,2,3]　小出　大介[3]　大門　雅夫[1]　山道　信毅[2]　小室　一成[1]
東京大学医学部附属病院　循環器内科[1]　東京大学医学部附属病院　予防医学センター[2]
東京大学大学院医学系研究科　生物統計情報学講座[3]

腎、尿路②（口頭発表）第５会場（3F 中会議室 302B）　【9:20 ～ 10:30】
座長：清水不二雄（一般社団法人　新潟縣健康管理協会　常任顧問）

2-5-06　人間ドック受診者の腎機能推移に関連する項目についての検討

○山内　裕子[1]　古澤　洋子[2]　山内　雅裕[1]　山内　貴裕[1]　木田　恆[1]　亀谷　正明[1]
山内　英通[1]
社団医療法人かなめ会　山内ホスピタル　人間ドック・健診センター[1]　岐阜聖徳学園大学[2]

2-5-07　人間ドック腹部超音波検査で発見された腎細胞癌の一例

○小長井美華　小林　千尋　碁盤真理子　濱本　知代　行武　裕隆　中村　美加
医療法人財団　明理会　新宿ロイヤル診療所

2-5-08　尿蛋白測定試験紙（±）症例における腎機能低下関連因子について
～第 6 報；関連因子による危険度スコア化の試み～

○田中　一成　清水不二雄　笠井真由美　上村　由紀　山本　晃　福田　祐明
松浦　恵子　村山　実
（一社）新潟縣健康管理協会

2-5-09　当財団における人間ドック健診の「随時尿」から「早朝尿」に変更して

○宜保　繭子　東江　栄喜　照屋八生美　久場　睦夫
沖縄県健康づくり財団　健診部

2-5-10　甲状腺機能刺激ホルモンと慢性腎臓病罹患・発症の関係

○戸田　晶子　本田　律子　加藤　昌之　天川　和久　岩男　暁子　陣内　由紀
若林真理子　辻　裕之　原　茂子　荒瀬　康司
虎の門病院　健康管理センター

2-5-11　健診尿中に 2,8-DHA 結晶が見られた APRT 欠損症の 1 例

○松谷　聖夜[1]　和佐野智美[1]　城成　加奈[1]　二宮美由紀[1]　荒川　千夏[1]　菅　理恵[2]
原　直彦[2]　奥村　雄三[2]
原三信病院　臨床検査科[1]　原三信病院　健康管理センター[2]

2-5-12　当会における多発性嚢胞腎の疫学とスクリーニングに関する検討

○吉本　貴宜[1]　高谷　典秀[1]　赤沼真由美[1]　荒井　清美[1]　森田　好彦[1]　渡辺　由貴[1]
太田秀二郎[1]　高谷　純司[2]　高谷　雅史[1]
医療法人社団　同友会　春日クリニック[1]　医療法人社団　同友会　深川クリニック[2]

特定保健指導②（口頭発表）第 5 会場（3F 中会議室 302B）　【10:30 ～ 11:40】
座長：岸本　憲明（東海大学医学部基盤診療学系健康管理学　講師）

2-5-13　特定保健指導の実施率向上のための取り組み　－全国健康保険協会との協同企画－

○菅原　叶子　高野　真衣　上野允理耶　大澤　唯称　齊藤　華子　白田千佳子
根志　繭子　大前　利道　大前　由美　沼本美由紀
医療法人社団　新虎の門会　新浦安虎の門クリニック

2-5-14　特定保健指導参加者のその後の生活習慣と健診データの推移
～オリジナルの特定保健指導を導入しての効果～

○岩本　豊子[1]　錦戸　典子[2]
東海大学　医学部　付属病院　健診センター[1]　東海大学　医学部　看護学科　公衆衛生看護学科[2]

2-5-15　特定保健指導の積極的支援対象者が初めての積極的支援を終了した過程
～健康認識と行動の変容に焦点をあてて～

○佐藤さとみ[1]　細坂　泰子[2]
東京慈恵会医科大学附属病院　新橋健診センター[1]　東京慈恵会医科大学医学部看護学科[2]

2-5-16　特定保健指導積極的支援を 2 年連続して受けることの効果

○若杉　愛[1]　新村由美子[1]　橋本千津子[1]　大沼　朱美[1]　鳥羽山睦子[2]　武藤　繁貴[1]
福田　崇典[2]
社会福祉法人　聖隷福祉事業団　保健事業部　聖隷健康診断センター[1]　社会福祉法人　聖隷福祉事業団　保健事業部[2]

2-5-17　特定保健指導における中断者の特徴の検討

○田辺　宏美　大原　彩実　大橋　敦子　遠藤　恵子　佐田　伸夫　安達　倫文
光宗　皇彦　市場　俊雄　井上　和彦　清水　信義
一般財団法人淳風会　淳風会健康管理センター

2-5-18　特定保健指導による3か月後減量成功者の実態を探る

○土屋易寿美[1]　足立　美幸[1]　藤城　龍子[1]　鳥羽山睦子[2]　森　厚嘉[1]　武藤　繁貴[3]
福田　崇典[2]
聖隷予防検診センター[1]　聖隷福祉事業団　保健事業部[2]　聖隷健康診断センター[3]

2-5-19　特定保健指導初回面談の健診当日実施への取り組みと効果の検討

○浪内　美和[1]　永松はるか[1]　鈴木　静[1]　小田千恵美[1]　西藤　亮子[1]　橋本　俊彦[1]
那須　繁[2]
特定医療法人財団博愛会　人間ドックセンターウェルネス[1]　特定医療法人財団博愛会　博愛会病院[2]

消化器（上部消化管）④（口頭発表）第5会場（3F 中会議室 302B）　【14:00～14:50】
座長：加藤　智弘（東京慈恵会医科大学附属病院　総合健診・予防医学センター）

2-5-20　経鼻内視鏡検査前処置における麻酔薬投与法の検討

○大久保ひろ子　三宅　深雪　拜原　友里　友田　貴子　上野　絢子　石原　真澄
柴田友香子　川崎　雅美　中西美知江　藤田　剛
淀川キリスト教病院　健康管理増進センター

2-5-21　新しい経鼻内視鏡用鼻腔麻酔スティックの開発と使用経験－2分間鼻腔麻酔法について－

○大原　信行
大原ファミリークリニック

2-5-22　任意型健診（人間ドック）の経鼻内視鏡検査に鎮静は必要か？

○増田　淳一　下道　久恵　水野　尚美
重工記念長崎病院　健診センター

2-5-23　細径内視鏡を用いた上部消化管スクリーニング検査後の苦痛に関する検討

○山本　智美　和田　恒哉　岩出　悦子　鈴木　祥美　辻　彩日　坂爪　友紀
加藤きよみ　中島　幸恵　番　郷子　山田　珠樹
一般社団法人　岡崎市医師会

2-5-24　当院における経鼻内視鏡検査の鼻出血の現状について

○岩崎　絢子　松澤　範子　西舘美音子　中島　直美　柴山かおり　松久　未来
梶川　歩美　中川　良　中川　一美　中川　高志
医療法人　大宮シティクリニック

特定保健指導③（口頭発表）第5会場（3F 中会議室 302B）　【14:50～15:50】
座長：宮脇　尚志（京都女子大学　家政学部食物栄養学科　教授）

2-5-25　特定保健指導件数増加に向けた当院での工夫

○稲田絵美子　田中　裕子　桑江まゆみ　岡田　眞里　小池真名美
医療法人横浜柏提会　戸塚共立メディカルサテライトクリニック

2-5-26　特定保健指導開始者増加への取り組み～スタッフ間で初回面接導入時の説明内容を統一して～

○畑中　智花　木戸　博美　川嶋真理子　濱田美津子　尾上恵美子　阿座上聖史
宮崎　雅也　武冨　勝郎　野俣浩一郎
宮崎総合健診センター

2-5-27　特定保健指導最終評価時の健診データから見た保健指導の効果

○木内　利恵[1]　照井紀美子[1]　八代　美幸[1]　佐藤あゆみ[1]　小助川靖子[1]　三浦智沙斗[1]
小松ひかる[1]　水口　直樹[2]　鈴木　克彦[2]　小松　大芽[2]
社会医療法人　青嵐会　本荘第一病院　保健センター[1]　社会医療法人　青嵐会　本荘第一病院　診療部[2]

2-5-28　体組成測定を導入した特定保健指導の取り組み 第２報

○野田　紗希　　篠原　裕枝　　中野　真宏
地方独立行政法人　新小山市民病院　予防医学センター

2-5-29　当日特定保健指導希望者の分析

○花井　千栄　　中嶋　澄香　　藤岡　　司　　川本　理恵　　和田　真紀　　横井　祐子
社会医療法人　松本快生会　西奈良中央病院　健康管理センター

2-5-30　特定保健指導を２年連続して受ける効果について

○神崎　瑞奈　　比嘉　智香　　小林千恵美　　國本　綾子　　花田　秀幸　　山永　義之
福岡和白総合健診クリニック

循環器（口頭発表）第６会場（3F 中会議室 302A）　【8:30 ～ 9:30】
座長：髙谷　典秀（医療法人社団　同友会 理事長）

2-6-01　心電図自動診断の精度評価ならびに有用性向上に関する研究－第２報

○加藤　貴雄[1]　八島　正明[2]　渡邉　英一[2]　高橋　尚彦[2]　池田　隆徳[2]　笠巻　祐二[2]
住友　直方[2]　植田　典浩[2]　森田　　宏[2]　平岡　昌和[2]
国際医療福祉大学　三田病院　心臓血管センター／予防医学センター[1]　心電図自動診断を考える会[2]

2-6-02　当健診センター受診者の循環器要精査の結果について

○小川　昭三　　水口　敏宏
公立学校共済組合東海中央病院　健康管理センター

2-6-03　血糖値と組織ドプラ（Tei index も）を含む心機能などとの相関について

○近藤　修二　　船津　和夫　　山下　　毅　　水野　杏一
三越厚生事業団　三越診療所

2-6-04　心臓 MRI を用いた心臓ドックの報告

○井野　雅基　　三原　晴美　　田上真之介　　高尾　祐治　　坂本　祐二　　菅　　守隆
済生会熊本病院　予防医療センター

2-6-05　人間ドック健診を受診した糖尿病患者の安静時心電図所見の特徴

○五郎丸直美[1]　桝田　　出[2]　白樫美千代[1]　升田　知機[1]　須山　哲次[1]　田巻　俊一[1]
武田　隆司[3]　武田　道子[3]　武田　隆男[3]　武田　隆久[3]
医療法人　財団　康生会　山科武田ラクトクリニック[1]　医療法人　財団　康生会　武田病院健診センター[2]
武田病院グループ[3]

2-6-06　人間ドック受診者における血清中 NT-proBNP の臨床的意義に関する検討

○前川　恭子[1]　羽原　利幸[1]　佐々木一則[1]　川嵜　法之[2]　瀬崎　伸夫[1]　平田　教至[3]
公立学校共済組合　中国中央病院　臨床検査科[1]　公立学校共済組合　中国中央病院　健康管理・安全管理室[2]
公立学校共済組合　中国中央病院　健康管理科[3]

血圧、脈拍、診察（口頭発表）第６会場（3F 中会議室 302A）　【9:30 ～ 10:20】
座長：和田　高士（東京慈恵会医科大学　大学院医学研究科　健康科学教授）

2-6-07　日本人における柔軟性と高血圧罹患の関係：コホート研究－ Niigata Wellness Study －

○丸藤　祐子[1,2]　澤田　　亨[3]　門間　陽樹[4]　川上　諒子[3]　宮地　元彦[1]　田代　　稔[5]
加藤　公則[2,5]　曽根　博仁[2]
医薬基盤・健康・栄養研究所[1]　新潟大学大学院[2]　早稲田大学[3]　東北大学大学院[4]　新潟県労働衛生医学協会[5]

2-6-08　若～中年の正常血圧者において、脈圧増加は高血圧発症と関連している。
－６年間の健診データ追跡から－
○前田　健吾[1,2]　白田　康代[1,2]　星野　留里[1,2]　芳野　純治[1,2]　竹市　泉[1,2]
国際セントラルクリニック[1]　大名古屋ビルセントラルクリニック[2]

2-6-09　長時間睡眠者と夜間高血圧の関連
○水野　杏一　山下　敦　近藤　修二　船津　和夫　高橋　直人　横山　雅子
寺田　奈美　影山　洋子　田中　千裕　中村　治雄
公益財団法人　三越厚生事業団

2-6-10　人間ドック受診者における自覚症状と治療疾患の推移
○杉本　孝一　今井　佳子　出水　友梨　大久保芳美　藤島　桜子
横須賀市立市民病院　健康管理科

2-6-11　健診センターにおける採血による血管迷走神経反射（VVR）予防への取り組み
○福田　奈美[1]　吉田　敏子[1]　井上　徳子[1]　杉原　博文[1]　武田　貞子[2]　武田　道子[3]
武田　隆司[3]　武田　隆男[3]　武田　隆久[3]
医療法人　財団　康生会　武田病院健診センター[1]　医療法人　財団　康生会　康生会クリニック[2]
武田病院グループ[3]

指導その他（口頭発表）第６会場（3F 中会議室 302A）　【10:20 ～ 11:30】
座長：小口　淳（岡谷市民病院　健診センター　部長）

2-6-12　当院職員における健康増進の取り組みについて～ 100 日健康プロジェクト導入の効果～
○市川　里菜　高橋　由華　大庭　加奈　行實えり子　林田　仁美　隈本　伸生
立野　淳子　大渕美帆子
一般財団法人　平成紫川会　小倉記念病院　健康管理センター

2-6-13　当院職員における健康増進の取り組みについて～ 100 日健康増進プロジェクトの効果の検証～
○高橋　由華　市川　里菜　大庭　加奈　行實えり子　林田　仁美　隈本　伸生
立野　淳子　大渕美帆子
一般財団法人　平成紫川会　小倉記念病院　健康管理センター

2-6-14　糖尿病腎症重症化予防プログラム開発のための研究（第１報）
○村本あき子　栄口由香里　津下　一代
あいち健康の森健康科学総合センター

2-6-15　婦人科検診受診率向上への取組み　～パンフレットを活用してのアプローチ～
○鈴木　美里　宮崎　美雪　齋藤ゆかり　千葉　暢子　海野　均
社会医療法人中山会宇都宮記念病院　総合健診センター

2-6-16　人間ドック受診者を対象にした幸福度の実態調査
○杉原　貴子　保本　桂子　森田百合子
広島赤十字・原爆病院　健康管理センター

2-6-17　特定健診受診者における睡眠障害について
○出水　友梨　今井　佳子　大久保芳美　藤島　桜子　杉本　孝一
横須賀市立市民病院　健康管理センター

2-6-18　加齢と体形変化の分布
○根上　昌子　星　君枝　萩原　美桜　國分　昭紀　菅原　知紀　菅野壮太郎
大塚　博紀
社会医療法人財団　石心会　さやま総合クリニック　健診センター

ロコモティブシンドローム・フレイル②（口頭発表）第6会場（3F 中会議室302A）　【14:00～14:50】
座長：澤田　亨（早稲田大学　スポーツ科学学術院　教授）

2-6-19　当院健診センター 1 年間の体組成分析実施例の検討
○近藤圭一郎　犬童　直美　吉川三菜美　田邊　恵　中嶋　好子　藤井　廉
田中　英一
田中会　武蔵ヶ丘病院

2-6-20　当施設における多職種協働によるロコモ予防教室の現状と課題
○古澤　弦[1]　鈴木　美帆[2]　坂本　真樹[2]　興野　千春[2]　野口須美子[2]　大貫　智恵[3]
金森　毅繁[1]　設楽佐代子[2]　本橋　歩[2]　山根　一秀[2]
医療法人社団　筑波記念会　筑波記念病院　リハビリテーション部[1]
医療法人社団　筑波記念会　筑波記念病院　つくばトータルヘルスプラザ[2]
医療法人社団　筑波記念会　筑波記念病院　栄養部[3]

2-6-21　老人福祉施設入居者におけるサルコペニア・ロコモティブシンドロームの現状
○山下　毅　斗米　馨　影山　洋子　近藤　修一　船津　和夫　水野　杏一
公益財団法人　三越厚生事業団　三越総合健診センター

2-6-22　動作解析装置「鑑（あきら）」を用いた人工股関節手術（THA）前後の歩行解析
○天野　栄治[1]　溝口　勝己[1]　泉田　良一[2]　逸見　治[2]　古郡　宏行[2]　加藤正二郎[3]
鮏川　裕之[4]　寺田総一郎[4]　鈴木　俊夫[4]　山﨑　知子[4]
社会福祉法人　仁生社　江戸川病院　リハビリテーション科[1]
社会福祉法人　仁生社　江戸川病院　慶友人工関節センター[2]
社会福祉法人　仁生社　江戸川病院　整形外科[3]　社会福祉法人　仁生社　江戸川病院　健診センター[4]

2-6-23　ロコモ健診を開始して分かってきたことについて
～ロコモ健診後アンケートと判定結果による検討～
○手嶋　義高　宮本　祐一　川口　達大　山川　公子　大坪　義彦　小柳　徳明
山田　安代　重光　貴弘　石川　佑喜
新古賀クリニック　健康管理センター

受診勧奨・医療連携③（口頭発表）第 6 会場（3F 中会議室 302A）　【14:50 ～ 16:00】
座長：大本　由樹（虎の門病院付属健康管理センター・画像診断センター）

2-6-24　春日クリニックにおける未受診者の動向調査と受診勧奨
○渡邊　紀章[1]　高谷　典秀[1]　新藤　淳[1]　井出　貴文[1]　阿部弥栄子[1]　石沢　卓人[1]
宮川　一成[2]　高谷　純司[3]　高谷　雅史[1]
医療法人社団　同友会　春日クリニック[1]　医療法人社団　同友会　品川クリニック[2]
医療法人社団　同友会　深川クリニック[3]

2-6-25　健診血糖パニック値の受診者のアドヒアランスと受診勧奨についての検討
○大渕美帆子
一般財団法人　平成紫川会　小倉記念病院

2-6-26　2 回以上糖尿病受診勧奨群の特徴～糖尿病治療維持群との比較から～
○寺田　伸子
医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院　健診センター

2-6-27　当健康管理センターにおける糖代謝要受診者に対するアプローチ
－受診勧奨用紙内容変更の効果－
○中島歓真子　加藤　昌恵　米川　弘恭　立川　和重
独立行政法人地域医療機能推進機構　中京病院　健康管理センター

2-6-28　健康診断で糖代謝の要検査・要医療レベルの方のその後の医療機関受診ならびに投薬継続動向に関して

○長浜　誉佳　柴崎　悠介　大前　明美　猪股　幹基　恩田　淳　工藤　大　木村　真也
JMDC

2-6-29　高血圧および糖尿病に対する就業制限導入の効果について：健診データとレセプトデータからみた服薬促進効果に関する考察

○厚美　直孝
丸井健康保険組合　健康促進センター

2-6-30　精密検査受診勧奨の取り組み後の評価と今後の課題

○玉川　恵子　大野　和永　上田　洋子　岩本　節子　佐々木　明
医療法人社団曙会　佐々木外科病院　総合健診センター

眼、耳、鼻、咽、喉頭（口頭発表）第７会場（3F 小会議室 303+304）　【8:30 ～ 9:30】
座長：藤島　浩（鶴見大学歯学部附属病院眼科）

2-7-01　非散瞳眼で poor な画像しか撮れなかった眼への光干渉断層撮影 OCT の有用性について

○加茂　純子[1]　伊東　篤志[2]　原田　亮[3]
甲府共立病院　眼科[1]　甲府共立病院　初期研修医[2]　甲府共立診療所[3]

2-7-02　当施設における光干渉断層計検査導入後の検討

○水谷かおり[1]　宍戸　淑子[1]　平林　和子[2]　今井　弘毅[3]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター　健康管理部[1]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター　診療部[2]　社会医療法人財団　慈泉会　相澤病院　眼科[3]

2-7-03　緑内障スクリーニング検査の精度向上にむけた取り組み

○梅澤はるか　古井　妙子　泉井里江子　田中　正美　吉田　奎介
公益財団法人　新潟県保健衛生センター

2-7-04　VDT 作業者 646 人の各種視機能と、レーシック眼、ドライアイ眼の、目、身体、精神の自覚症状との相関

○平松　邦夫[1]　高石　和子[1]　門　恵美[1]　磯谷　理絵[1]　三谷　和代[1]　叶　千鶴[1]　綾部　智之[1]　牛尾　江利[1]　宇高　功[1]　福田　裕[1]
公益財団法人　加古川総合保健センター[1]　平松眼科[2]

2-7-05　高コレステロール血症と喫煙は難聴発生の独立した危険因子であった

○小田　栄司
立川総合病院　健診センター

2-7-06　頸動脈超音波検査実施時に偶発的に発見された顎下腺腫瘤の一例

○岡村　香[1]　永原　隆之[1]　上田　真路[1]　相川真名美[1]　滝沢　瑞紀[1]　新垣　力[2]　墨　一郎[2]　中塚　詔子[2]　山之上弘樹[3]　相澤　信行[3]
医療法人　沖縄徳洲会　静岡徳洲会病院　臨床検査科[1]　医療法人　沖縄徳洲会　静岡徳洲会病院　健康管理センター[2]
医療法人　沖縄徳洲会　静岡徳洲会病院　内科[3]

内分泌・感染・骨（口頭発表）第７会場（3F 小会議室 303+304）　【9:30 ～ 10:20】
座長：廣岡　　孝（静岡トレーニングクリニック　院長 ）

2-7-07　人間ドックに於ける骨密度と体重　その２
○吉田　泰行[1]　川村　　実[2]　太田　康弘[3]　設楽　恵美[3]　神子　　大[3]　大網　彩綾[3]
岩間　一志[3]　竹内　智美[4]　永井　愛子[4]
威風会栗山中央病院　耳鼻咽喉科・健康管理課[1]　二和診療所　ふれあいクリニック[2]
威風会栗山中央病院　検査科[3]　威風会栗山中央病院　健診室[4]

2-7-08　骨粗鬆症の早期発見治療に向けて－人間ドック受診者に対する健診センターと骨粗鬆症リエゾンサービスチーム連携の有用性
○有田　誠司　楠目　健一　久保田　亨　石橋　見季　中塚真由加　川原　翔子
高柳美奈子　高石　真人　根岸　純子　田代　律子
聖隷佐倉市民病院　健診センター

2-7-09　甲状腺機能異常症のスクリーニングにおける血清コリンエステラーゼ測定の有用性
○深澤　　洋[1]　津久井　一[1]　三井　清文[1]　青木　空眞[3]　佐藤　憲一[3]　飛田　　渉[2]
吉田　克己[2]
筑波大学付属病院水戸地域医療教育センター　茨城県厚生連　総合病院　水戸協同病院　健康管理センター[1]
KKR 東北公済病院　健康医学センター[2]　東北薬科大学　医薬情報科学[3]

2-7-10　乳腺・甲状腺細胞診からの劣化の少ない RNA 抽出について
○軸薗　智雄[1,2,3]　眞鍋恵理子[4]　石川　朋子[5]　赤須　東樹[4]　石橋　　宰[2]
蒔田益次郎[4]　杉谷　　巌[3]　山田　　哲[1]
金地病院　外科[1]　大阪府立大学大学院　生命環境科学研究科[2]　日本医科大学　内分泌外科[3]
日本医科大学武蔵小杉病院[4]　お茶の水女子大学　ヒューマンライフイノベーション研究所[5]

2-7-11　診療所併設健診施設である当院の院内感染管理
○飯田真由美　村山利恵子　関川さゆり　吉野貴美子　沼本美由紀　大前　由美
大前　利通
医療法人社団新虎の門会　新浦安虎の門クリニック

再検査・精密検査（口頭発表）第７会場（3F 小会議室 303+304）　【10:20 ～ 11:10】
座長：中尾　治彦（社会医療法人財団白十字会　健康増進センター　センター長）

2-7-12　自己採血キットを用いた再検システム運用上の課題について
○泉　　拓朗　閏間　陽子　松田　　学　米原　英里　高橋　英孝
東海大学　医学部付属八王子病院　健康管理センター

2-7-13　要経過観察者への受診勧奨を実施して見えた今後の課題
○川本　理恵　中村きよ子　増田美加子　萩尾　倫子　花井　千栄　横井　祐子
社会医療法人　松本快生会　西奈良中央病院　健康管理センター

2-7-14　がん検診における精度管理についての検討～保険者種別における精検受診率からみた課題～
○福嶋　邦枝[1]　小田千恵美[1]　弓削　幸恵[1]　吉村　理江[1]　那須　　繁[2]
特定医療法人財団博愛会　人間ドックセンター　ウェルネス[1]　博愛会病院[2]

2-7-15　人間ドック便潜血陽性者の大腸二次検査受診状況～ CTC 検査導入・追跡調査開始５年を経て～
○米山　直樹　安川　純一　小久保佳奈　河村　健吾　石脇　花織　亀山　　晃
川内　利夫　杉野　吉則　吉住　　豊　永田　雅良
医療法人　永仁会　入間ハート病院健康管理センター

2-7-16　ピロリ菌検査結果通知方法の改善と取組みとピロリ菌除菌率について

○上田由美子[1]　吉住　希[1]　千葉　香[1]　永原　隆之[2]　新垣　力[1]　墨　一郎[1]
中塚　詔子[1]　山之上弘樹[3]　相澤　信行[3]
医療法人　沖縄徳洲会　静岡徳洲会病院　健康管理センター[1]　医療法人　沖縄徳洲会　静岡徳洲会病院　臨床検査科[2]
医療法人　沖縄徳洲会　静岡徳洲会病院　内科[3]

人間ドック健診施設機能その他（口頭発表）第 7会場（3F 小会議室 303+304）　【14:00～ 15:10】
座長：北　嘉昭（国際医療福祉大学総合診療医学　教授）

2-7-17　大口団体の申込み変更の受付手順の見直しによる事務作業の効率化・オプション件数増加をめざした試みについての報告

○沖田ゆきみ　玉川　有紀　山岸　仁美　菊池　明子
仙台厚生病院　総合健診センター

2-7-18　巡回健診における検診車購入によるメリット

○川村　優子　佐々木美香子　齋藤　智　北村　佳織　大前　利道　大前　由美
沼本美由紀
医療法人社団　新虎の門会　新浦安虎の門クリニック

2-7-19　健診における看護師業務の業務改善を試み
～健診結果処理期間の短縮について～

○長谷川　恵　粕谷　純子　鈴木　裕子　石塚　由佳　渡部　順子　南部　知子
一般社団法人　鶴岡地区医師会　荘内地区健康管理センター

2-7-20　健診センター・リハビリテーション部門の多職種連携にて就労者健康管理支援部門立ち上げに向けた取り組み

○河野　銀次[1]　西山幸太郎[1]　谷　美里[1]　鴨川　孝介[1]　原口　大輝[1]　高橋　麻美[1]
小林　春菜[1]　小西　理恵[2]　森　淳一[1]　山口　豊[1,2]
社会医療法人敬和会大分リハビリテーション病院リハビリテーション部[1]　社会医療法人敬和会敬和会健診センター[2]

2-7-21　二次精査受診率を向上させることにより結果判定の精度を上げる取り組み

○長畦登三子[1]　清水　夕貴[1]　奥原ゆう子[1]　鬼熊　永子[1]　穂高　正枝[1]　坂上　友香[1]
森　哲夫[1]　五味　英一[1]　佐藤　篤[2]　五十嵐　淳[2]
社会医療法人抱生会　丸の内病院　健診センター[1]　社会医療法人抱生会　丸の内病院[2]

2-7-22　超音波検査作業環境の改善による効果

○岩村　怜子　岡村　雅美　諏訪　雅貴　坂口　元雅　木田　明　小澤　謙二
別所　祐次　高木　康之　横地　隆
トヨタ自動車株式会社　健康支援センター　ウェルポ

2-7-23　過去 4 年間で超音波検査を契機として診断された悪性腫瘍の分布について

○稲村　千里[1]　合木祐美子[1]　足立　輝美[2]　早川いずみ[1]　石井ひさ子[3]　村田　恵美[1]
早田　圭[1]　中村　恭子[4]　松木　隆央[4]
新赤坂クリニック　超音波検査科[1]　日本橋室町クリニック　超音波検査科[2]　横浜北幸クリニック　超音波検査科[3]
新赤坂クリニック[4]

身体活動（口頭発表）第 8 会場（3F 小会議室 306+307）　【8:30 ～ 9:20】
座長：大井　利夫（厚生連上都賀総合病院　名誉院長）

2-8-01　余暇身体活動時間および歩行業務時間と尿路結石症発症の関係：新潟ウェルネス・スタディ

○澤田　亨[1]　川上　諒子[1]　丸藤　祐子[2]　田代　稔[3]　加藤　公則[3,4]　曽根　博仁[5]
早稲田大学　スポーツ科学学術院[1]　医薬基盤・健康・栄養研究所　身体活動研究部[2]　新潟県労働衛生医学協会[3]
新潟大学大学院　生活習慣病予防検査医学講座[4]　新潟大学大学院　医歯学総合研究科　内科[5]

2-8-02　中年勤労女性の閉経前後における生活習慣および関連因子の比較

○茂木　順子[1]　河村　孝彦[1]　中山　卓也[1]　光部　浩史[1]　鈴木　節子[2]　小栗　裕子[2]
中村　清範[2]　三宅　俊宏[2]　渡会　敦子[1]
中部ろうさい病院　治療就労両立支援センター　予防医療部[1]　中部ろうさい病院　健康診断部[2]

2-8-03　消費エネルギー増加、摂取エネルギー減少の同一エネルギー量の変化に伴う効果の追加研究

○横山　勇[1]　田中　瑛莉[1]　岸　裕志[1]　大野　陽華[1]　武井沙千子[1]　高柳亜里沙[1]
齋藤　志乃[1]　加瀬　嘉明[2]　伊藤　一人[2]　黒澤　功[3]
医療法人社団美心会　黒沢病院附属ヘルスパーククリニック　メディカルフィットネス ValeoPro[1]
医療法人社団美心会　黒沢病院　予防医学研究所[2]　医療法人社団美心会　黒沢病院　理事長[3]

2-8-04　体力測定と運動教室への参加が体力の維持・増進に及ぼす効果

○井村　聡仁[1]　大橋　功男[1]　林　真弓[1]　前津　牧子[1]　中村真朱美[1]　伊藤　和幸[2]
平山　幹生[2]　安田　宜成[3]　柴田　典子[3]
公益財団法人　春日井市健康管理事業団　春日井市保健センター[1]
公益財団法人　春日井市健康管理事業団　春日井市総合保健医療センター[2]
名古屋大学　医学部　医学系研究科　循環器・腎臓・糖尿病（CKD）先進診療システム学寄附講座[3]

2-8-05　介護予防事業にて多職種の介入が与える影響について

○中村　泰士[1]　細川　昌春[1]　浅井　栄美[1]　唯内久美子[1]　加藤　希実[1]　石田　善健[2]
加藤　卓次[2]　大瀧　美恵[2]
公益財団法人　福井県労働衛生センター　健康増進部[1]　公益財団法人　福井県労働衛生センター　医局[2]

栄養・食生活（口頭発表）第 8 会場（3F 小会議室 306+307）　【9:20 ～ 10:20】
座長：佐藤　祐造（愛知みずほ大学　学長）

2-8-06　生活習慣病患者のタンパク質・K 摂取量、Na/K 比と生活習慣因子との関係

○橋本　佳明[1]　二村　梓[1]　井上　富夫[2]　正親　真美[3]
上尾中央総合病院　生活習慣病センター[1]　上尾中央総合病院　人間ドック科[2]
上尾中央総合病院　医療情報管理課[3]

2-8-07　タニタ食堂の定食を利用した食育の取り組み

○佐藤　園子　千田　由美　水戸　碧　佐藤　智子　半田美由紀　渡部　恵子
田沢　美春　明石　建　戸堀　文雄
公益財団法人　秋田県総合保健事業団　秋田県総合保健センター

2-8-08　人間ドックランチによる食育支援の取り組みについて ～ 塩分 2g 台の減塩弁当の提供 ～

○今井　愛　竹内祐江里　吉永　好恵　工藤留美子　菊池美也子
公益財団法人　神奈川県予防医学協会

2-8-09　中高年者のボディ・イメージ（主観的体型評価）と心理的側面からの食行動の特徴

○戸崎小百合[1]　佐伯　正人[1]　南　芳子[1]　細川　寿子[1,2]　河合　壽一[1,2]
林　慎[1,2]
まつなみ健康増進クリニック　人間ドック・健診センター[1]　松波総合病院　内科[2]

2-8-10　健康管理センターにおける糖尿病予防指導についての検討

○気谷恵理子[1]　山本　香代[1]　櫻井　勝[2]　浅地　孝能[3]
金沢医科大学病院　栄養部[1]　金沢医科大学　衛生学[2]　金沢医科大学病院　健康管理センター[3]

2-8-11　「ノンオイルドレッシング」は低カロリーか

○清水　隆裕　兼城　邦昭　砂川　隆
社会医療法人敬愛会　ちばなクリニック　健康管理センター

検査法（遺伝子、新技術、ほか）（口頭発表）第 8会場（3F 小会議室 306+307）　【14:00～ 15:10】
座長：山門　　實（足利大学　看護学部　学部長）

2-8-12　アミノインデックス技術の臨床応用：アミノインデックス生活習慣病リスクスクリーニングは糖尿病発症のリスクを予測する

○山門　　實[1,2]　五十川陽一[3]　影山　陽子[4]　村松　孝彦[4]　今泉　　明[4]　山本　浩史[4]
神通　寛子[4]　新美　佑有[2]　石坂　裕子[2]
足利大学　看護学部[1]　三井記念病院　総合健診センター[2]　三井記念病院　糖尿病代謝内科[3]　味の素株式会社[4]

2-8-13　アミノインデックス受診者の意識調査～ AICS は健康意識を高めるツールである～

○栗原　照昌[1]　今田　智之[2]　森　　妹子[2]　原野　洋介[3]　渡辺　信弘[3]　黒澤　　功[1]
黒沢病院付属ヘルスパーククリニック　高崎健康管理センター[1]　味の素株式会社アミノサイエンス事業本部[2]
味の素株式会社イノベーション研究所[3]

2-8-14　大腸ＣＴ検査専用バリウムを使用したタギングの有用性の検討

○相澤　陽平　高岡　大子　田中加世子　渡邉　聡美　近藤　智雄
医療法人社団ちくま会　メディカルガーデン新浦安　総合健診センター

2-8-15　人間ドックにおけるコロジック検査の検討

○仲本　雅子[1]　光岡　彩佳[1]　西川　晋史[1]　小松亜紀子[1]　一ノ瀬　庸[1]　木長　　健[1]
伊東　香代[1]　山本　正之[1]　大久保美歩[1]
社会医療法人神鋼記念会　神鋼記念病院附属新神戸ドック健診クリニック[1]
社会医療法人神鋼記念会　神鋼記念病院健診センター[2]

2-8-16　尿試験紙蛋白検査標準化の現状と問題点

○伊藤　喜久[1]　原田　典明[1]　遠藤　郁美[1]　石川　恵美[2]　白井　俊孝[3]　小山　恭正[2]
ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院臨床検査科[1]
ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合健診医療・予防センター[2]
ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院内科[3]

2-8-17　全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 における人間ドック受診者尿を用いた尿中有形成分の臨床参考基準値の検証

○河村　道徳[1]　野村　秀一[1]　滝口友理子[1]　酒井千亜妃[1]　川西なみ紀[1]　桑原　隆一[1]
岡田　卓也[1]　黒島眞太郎[1]　小林　秀行[2]　中山　宏文[1]
医療法人ＪＲ広島病院　臨床検査科[1]　シスメックス株式会社　学術本部[2]

2-8-18　多因子疾患の遺伝子検査に対する受診者の関心は高く「年が若い」「家族歴あり」「喫煙習慣なし」が検査を希望する関連因子である

○伊藤美奈子　與那覇佳子　松本　明美　菅野　みほ　守岡　　謙　津々楽泰江
前田貴愛人
横浜市立みなと赤十字病院　健診センター

糖代謝（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【8:30 ～ 9:40】
座長：伊藤千賀子（医療法人グランドタワーメディカルコート理事長）

2-10-01　糖尿病前症は、5%以上の体重減量にて糖尿病発症が 74%予防される

○亀谷　富夫
富山県厚生連　高岡健康管理センター

2-10-02　高齢者糖尿病と非糖尿病の糖代謝と運動習慣の有無についての検討
－ Niigata Wellness Study －

○齋藤　清美[1]　小林　篤子[1]　庭野　早苗[1]　小柳　博明[1]　松田　和博[1]　佐藤　幸示[1]
加藤　公則[1,2]
（一社）新潟県労働衛生医学協会[1]　新潟大学大学院　生活習慣病予防検査医学講座[2]

2-10-03　75 g OGTT におけるフラッシュグルコースモニタリングシステム（FGM）の活用可能性について

○赤嶺　百子[1]　福永　康智[2]　谷口　隆司[3]　西河　浩之[3]　佐藤　晴久[4]　青　未空[1]
和田　萌希[1]　堀田　侑希[1]　宮脇　尚志[1,2,3]
京都女子大学大学院　家政学研究科　食物栄養学専攻[1]　洛和会東寺南病院　内科[2]
洛和会東寺南病院　健診センター[3]　洛和会東寺南病院　臨床検査部[4]

2-10-04　人間ドック健診における糖尿病患者の血圧・脂質管理

○桝田　出[1]　徳林　史代[1]　稲川　誠[1]　東　信之[2]　金崎めぐみ[1]　武田　貞子[3]
武田　隆司[4]　武田　道子[4]　武田　隆男[4]　武田　隆久[4]
医療法人財団　康生会　武田病院健診センター[1]　医仁会　武田総合病院　糖尿病センター[2]
医療法人財団　康生会　康生会クリニック[3]　武田病院グループ[4]

2-10-05　糖負荷試験の結果と生活習慣病関連項目の分析～保健指導の充実に向けて～

○京坂みなみ　笹井佐和子　寺内　逸美　井ノ口美帆　高谷　享子　古川　元庸
藤村　和代　沢田　仁
独立行政法人地域医療機能推進機構　大和郡山病院　健康管理センター

2-10-06　アルコールと諸因子が２型糖尿病に及ぼす影響について
－ドック健診データーに基づく横断的検討－

○小林　勲[1]　岩間　聡子[1]　菖蒲川由郷[2]
新潟医療センター　健診センター[1]　新潟大学　大学院　医歯学総合研究科　国際保健学分野[2]

2-10-07　健診受診時著明な高血糖を認めた２例

○笠原　寛　渡邊　秀彦
諏訪赤十字病院健診センター

保健指導全般②（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【9:40 ～ 11:00】
座長：宮下　正弘（秋田赤十字病院名誉院長／社会福祉法人賛成福祉会　介護老人保健施設　山盛苑施設長）

2-10-08　IoT を活用した「七福神アプリ」による生活習慣改善支援　－肥満度別の検討－

○野村　恵里[1]　岩竹　麻希[1]　武藤　繁貴[2]　津下　一代[1]
あいち健康の森健康科学総合センター[1]　聖隷健康診断センター[2]

2-10-09　健康づくりトライアル事業の試行効果の検討－ Niigata Wellness Study －

○源氏富貴子　宗村　綾香　白井　彰　小柳　博明　三巻　実香　後藤亜友美
松田　和博
（一社）新潟県労働衛生医学協会

2-10-10　健康管理センターにおける BMI30％以上受診者を対象とした当日生活指導の取り組み

○津久井純子　中村　哲之　今　陽一　権田　晴江　長谷川亜矢子　細堀　洋子
金井　育美　桐山　光代　野村　朋美　田村ひとみ
SUBARU 健康保険組合太田記念病院

2-10-11　脂質代謝異常の経過観察域における保健指導の課題　－禁煙指導の必要性－

○田口久美子　深井　絵美　齋藤　陽子　福田みずき　山口　千佳　川内奈津美
中尾　治彦
社会医療法人財団　白十字会　佐世保中央病院　健康増進センター

2-10-12　人間ドック受診者における禁煙成功者の実態調査

○水橋　星子　関根　郁恵　渡部　良枝　小澤　久子　福原　初江　嶋田　佳子
小久保より子　清水　正雄　丸山　義明　足立　雅樹
埼玉医科大学病院　健康管理センター

2-10-13　保健指導効果発現の要因に関する検討―特に指導者の職種間による相違について

○弘中　雅美[1]　岩間　克氏[1]　柳瀬　愛[2]　田中真理子[2]　出　政勝[2]　鈴木　正臣[2]
川本　周司[2]　瀬川　昂生[3]　山崎　敦史[4]
総合青山病院　栄養管理室[1]　健診センター[2]　消化器内科[3]　企画課[4]

2-10-14　人間ドック当日の保健指導の取り組みと今後の課題

○秋山　彰美[1]　直海　慶子[1]　佐藤　賢太[2]　石坂　裕子[1]　浅野　真紀[1]
三井記念病院　総合健診センター[1]　三井記念病院　診療情報管理部[2]

2-10-15　当健診センターにおける血糖高値者への教育とその効果

○小部由美子　田中　正美　成田奈緒子　小柳　早苗　吉崎　真子　田崎　充子
岩原由美子　佐藤美代子　吉野　祐一　山田　幸男
公益財団法人新潟県保健衛生センター

組織運営（施設運営）（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【14:00 ～ 14:40】
座長：古谷　亮（医療法人社団相和会　横浜総合健診センター　センター副所長）

2-10-16　企業外労働衛生機関における治療と職業生活の両立支援についてのアンケート調査分析

○森口　次郎[1]　鳰原　由子[2]　大橋　史子[1]　江口　尚[4]　井上　彰臣[4]　只野　祐[3]
堤　明純[4]
京都工場保健会[1]　前京都工場保健会[2]　全国労働衛生団体連合会[3]　北里大学医学部公衆衛生学[4]

2-10-17　脳ドックコースの見直しと今後の課題について

○石川　貴久　馬場　勝則　村上　武司　島本　佳憲
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院　健診センター

2-10-18　「チームトータリスト」の挑戦

○神應　知道　高木　敏
新町クリニック健康管理センター

2-10-19　当施設における 1 泊ドック差別化への取り組み

○池井　肇　小野　満也　西本　寛　春原　浩子　遠藤　和沙　田中　香菜
高瀬　美子　草間美奈子　小出　裕　高橋　巧
JA 長野厚生連　佐久総合病院　人間ドック科

特定健診（口頭発表）第 10 会場（1F 展示ホール B 特設会場 1）　【14:40 ～ 15:30】
座長：福田　洋（順天堂大学医学部総合診療科　先任准教授）

2-10-20　秋田県南部地域中核病院における特定健診 10 年間の推移（第 1 報）
－ MetS 頻度の推移と原因の特徴－

○佐々木司郎[1]　南部美由紀[1]　高橋　俊明[2]　齊藤　研[2]
平鹿総合病院農村医学研究所[1]　平鹿総合病院健診センター[2]

2-10-21　秋田県南部地域中核病院における　特定健診 10 年間の推移（第 2 報）－ MetS と生活習慣の関わりを中心に－

○南部美由紀[1]　佐々木司郎[1]　高橋　俊明[2]　齊藤　研[2]
平鹿総合病院農村医学研究所[1]　平鹿総合病院健診センター[2]

2-10-22　メタボリックシンドロームや脂肪肝と生活習慣との関連－特定健診標準的な質問票結果からの横断調査－

○星　君枝　根上　昌子　萩原　美桜　國分　昭紀　菅原　知紀　菅野壮太郎　大塚　博紀
社会医療法人財団　石心会　さやま総合クリニック　健診センター

2-10-23　特定健診受診時期による標準的な質問票結果の違い

○濱野　涼　萩原　美桜　菅原　知紀　根上　昌子　菅野壮太郎　大塚　博紀
社会医療法人財団　石心会　さやま総合クリニック　健診センター

2-10-24　特定健康診査受診者での糖尿病発症要因の検討

○日比　朝子[1]　柳川　達生[1,2]　小谷野圭子[2]　飯田　修平[2]
練馬総合病院　内科[1]　医療の質向上研究所[2]

受診者サービス③（口頭発表）第 11 会場（1F 展示ホール B 特設会場 2）　【8:30 ～ 9:40】
座長：松木　隆央（新赤坂クリニック　院長）

2-11-01　人間ドックにおける受診者の待ち時間短縮に向けた取組

○中西　隆子[1]　福本　裕介[1]　堤　千秋[1]　望月　吉郎[1,2]　河野　俊哉[2]　松本眞一郎[2]　山本　一郎[3]
姫路市医師会[1]　姫路市医師会ドック診療所委員会[2]　姫路市医師会長[3]

2-11-02　人間ドックにおける高速凝固分離剤入り真空採血管導入の有用性について

○江成　典子[1]　鈴木　千穂[1]　三橋　範子[1]　山上　祐次[1]　穂原　博美[2]　高柳　和香[2]　納所けい子[2]　星　智子[3]　安武　裕栄[3]　菊池美也子[4]
公益財団法人　神奈川県予防医学協会　臨床検査部[1]　公益財団法人　神奈川県予防医学協会　看護部[2]
公益財団法人　神奈川県予防医学協会　運営部[3]　公益財団法人　神奈川県予防医学協会　医局[4]

2-11-03　減塩食普及への取り組みについて

○岩崎　真也[1]　西井　裕[1]　春原ゆかり[2]
長野市民病院　健診センター[1]　長野市民病院　診療技術部　栄養科[2]

2-11-04　クレジットカードの導入経験　開始後 3 年間の利用状況と問題点

○広瀬　千鶴[1]　石光　敏行[2]　小林裕治郎[1]　久野　和美[1]　宇佐美昌枝[1]　浅野　純子[1]　大山　真来[1]　春日きくえ[1]
一般財団法人　茨城県メディカルセンター　総合健診部　医事課[1]　一般財団法人　茨城県メディカルセンター　内科[2]

2-11-05　人間ドックに健診おける受診者サービス向上にむけて 1 ～医療安全体制への取り組み～

○安武　裕栄　工藤留美子　江成　典子　納所けい子　小林　一朗　五十木孝子　三浦　猛　菊池美也子　小林　理
公益財団法人　神奈川県予防医学協会

2-11-06　人間ドック健診における受診者サービス向上にむけて 2 ～「あなたの相談室」の役割～

○工藤留美子　安武　裕栄　斉藤　静香　本橋　美紀　吉永　好恵　大村　崇夫　五十木孝子　根本　克幸　三浦　猛　菊池美也子
公益財団法人　神奈川県予防医学協会

2-11-07　当センターにおける腫瘍マーカー検査追加希望者の傾
－オプション導入後 2 年間の比較－
○小畑　貴之　　宮嶋　　忍
公益財団法人　豊田地域医療センター

消化器（下部消化管）（口頭発表）第 11 会場（1F 展示ホール B 特設会場 2）　【9:40 ～ 11:00】
座長：髙橋　直樹（医療法人社団　相和会　横浜総合健診センター　院長）

2-11-08　人間ドック症例における大腸腺腫と生活習慣病関連因子との関係について
○井上　富夫[1]　上野　秀之[1]　高原　　絢[1]　井上　幸治[1]　川島　友洋[1]　落合　健史[1]
上野聡一郎[1]　橋本　佳明[1]　梅田　正吾[2]
上尾中央総合病院[1]　梅田クリニック[2]

2-11-09　大腸腺腫発生に関連する生活習慣関連因子の検討
○浅野　都子　　岩野さちえ
医療法人財団　荻窪病院　健康管理センター

2-11-10　検診と一般診療で発見された胃癌・大腸癌の比較～当院がん登録データから～
○阿部　純子[1]　安田　志保[2]　播磨　由季[1]　大場美紀子[1]　三浦美奈子[1]　菊地　入子[1]
齊藤　　孝[3]　水口　直樹[3]　鈴木　克彦[3]　小松　大芽[3]
社会医療法人　青嵐会　本荘第一病院　保健センター[1]　社会医療法人　青嵐会　本荘第一病院　クラーク[2]
社会医療法人　青嵐会　本荘第一病院　診療部[3]

2-11-11　人間ドックでの便潜血検査は大腸癌の早期発見に有用である
○片岡　真美[1]　塚田こず恵[1]　桑原　香里[1]　片桐　智子[2]　眞嶋　浩聡[3]　中川　　良[1]
森山　　優[1]　中川　一美[1]　中川　高志[1]
（医療法人）大宮シティクリニック[1]　がん研究会有明病院[2]　自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科[3]

2-11-12　大腸内視鏡検査受診者への食事制限説明内容に関する検討
○中井　優花　　神原　知子　　小暮佳央里　　児玉　　瞳　　小林みどり　　柴崎　千春
丸茂　まゆ　　山本実佳子　　山本　寛子　　安藤　通崇
一般財団法人　健康予防医学財団　みなと健診クリニック

2-11-13　下部消化管内視鏡検査前処置における苦痛軽減と待機時間減少への取り組み
○能登谷真希子　　星野ゆかり　　川端和歌子　　板東ゆかり　　遠藤　　実
一般財団法人厚生会　仙台厚生病院　総合健診センター

2-11-14　ドックから大腸内視鏡検査を直接予約する体制の確立
○星　　研一　　上沢奈々子
長野赤十字病院　健康管理科

2-11-15　便潜血検査陽性で発見された腸管嚢胞状気腫症の 1 例
○宇賀神卓広　　渡辺　美穂　　津戸　直樹　　藤沼　澄夫
医療法人北斗医会宇都宮東病院健診センター

がん全般（口頭発表）第 11 会場（1F 展示ホール B 特設会場 2）　【14:00 ～ 15:20】
座長：田畑　正司（一般財団法人　石川県予防医学協会健康管理センター　所長）

2-11-16　アミノインデックスがんリスクスクリーニング（AICS）と生活習慣の関連性
○山本　麻以[1]　山本　浩史[1]　菊池　信矢[1]　新美　祐有[2]　谷　　瑞希[2]　石坂　裕子[2]
山門　　實[2,3]
味の素株式会社[1]　三井記念病院総合健診センター[2]　足利大学看護学部[3]

2-11-17　アミノインデックスがんリスクスクリーニング（AICS）の有用性
～複数施設約 1 万例での検討～

○三上　春夫[1]　木村　修[2]　永瀬　浩喜[1]　石坂　裕子[3]　中村　洋子[1]　山本　浩史[4]
安東　敏彦[4]　菊池　信矢[4]　山門　實[3,5]
千葉県がんセンター　研究所[1]　同愛会　博愛病院[2]　三井記念病院　総合健診センター[3]
味の素株式会社[4]　足利大学　看護学部[5]

2-11-18　当健康管理センターにおける PSA 検査結果についての検討

○岩崎　二郎
茨城県厚生連　ＪＡとりで総合医療センター　健康管理センター

2-11-19　膵臓がんリスク検査の長鎖脂肪酸 PC-594 は男女差がある

○坂巻　浩二[1,2]　常川　勝彦[2]　井上　尚美[1]　八束富美子[1]　間庭　基行[1]　正村　泰博[1]
阿久澤まさ子[1]　安藤　公子[1]　下村洋之助[2]　村上　正巳[2]
医療法人社団日高会　日高病院　健診センター[1]　群馬大学大学院医学系研究科　臨床検査医学[2]
医療法人社団日高会　日高学術研究センター[3]

2-11-20　人間ドック現場における 6 種がんマーカー（BCA225、CYFRA、p53 抗体、ProGRP、SCC、ST439）の有効性の検討

○田口　淳一　落合　出　佐野　純子　藤巻　力也　古川真依子　長谷川大樹
東京ミッドタウンクリニック

2-11-21　健康保険組合における胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の受診率やその後の各がんの発生率に関して

○工藤　大　大前　明美　柴崎　悠介　猪股　幹基　恩田　淳　長浜　誉佳
木村　真也
JMDC

2-11-22　全国がん登録制度における健診機関の役割と可能性

○工藤雄一朗[1]　本井　正代[1]　山下　松子[1]　高橋　順子[1]　藤山　真紀[1]　植松　彩子[1]
春山　康夫[1]
医療法人社団せいおう会鶯谷健診センター[1]　獨協医科大学医学部公衆衛生学講座[2]

2-11-23　人間ドック健診で発見された急性骨髄性白血病の一例

○大西　誠[1]　岡部　文雄[1]　下瀬　雅士[1]　鈴木　崇浩[2]　渡邉　和彦[2]　寺坂　邦広[2]
河野有佳子[3]　小林　江里[3]　北野　俊行[4]
一般財団法人　大阪府結核予防会　相談診療所　臨床検査部[1]
一般財団法人　大阪府結核予防会　相談診療所　診療部[2]　日本医学株式会社[3]
公益財団法人　田附興風会　医学研究所　北野病院[4]

外国人（健診ツーリズム）（口頭発表）第 11会場（1F 展示ホール B 特設会場 2）　【15:20～ 16:00】
座長：李　正男（社会医療法人黎明会　健診センター・キタデ）

2-11-24　当センターにおける中国人健診の受け入れ

○森　裕里子　岡本　寛美　木村　涼美　坂本　隆　乾　可苗　楠　洋子
医療法人　錦秀会　阪和第二泉北病院　阪和インテリジェント医療センター

2-11-25　地方の医療機関における外国人 VIP ドック受入への取組み

○加藤　大地　村木　洋介　篠田　誠　荒井　玲子　JohnC.Wocher　磯辺　晴美
医療法人鉄蕉会　亀田クリニック　健康管理センター

2-11-26　国際的人間ドックを目指した取り込みと課題（2）・2017 年度の総括

○呂　軍　井上　博睦　林　裕子　橋本真紀子
国立国際医療研究センター病院・人間ドック科

2-11-27　当センターにおけるベトナムからの健診ツーリズムの現状と今後の課題

○古川　佳子[1]　森下　鉄夫[1]　大田　真理[1]　児玉　桂一[1]　武田　英孝[1]　横山　郁夫[1]
中井　呈子[1]　川合　陽子[2]　銭谷　幹夫[1]　天野　隆弘[1]
山王メディカルセンター　予防医学センター[1]　山王病院　内科[2]

一 般 演 題
（ポスター発表）

プログラム

1日目　8月30日（木）

演題番号

例：**P-1-01**

ポスター

期　日
1：1日目
2：2日目

1日目(8月30日(木))

循環器・動脈硬化（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【16:30 ～ 17:30】
座長：桝田　出（医療法人財団康生会 武田病院健診センター所長）

P-1-01　当施設の人間ドック受診者における健康質問票と血管障害因子の相関と予防
○市川　均　小倉　奈加　築山　節
公益財団法人　河野臨床医学研究所　北品川クリニック

P-1-02　冠動脈 MRA ドックの初期経験
○能城　毅　稲生　信一　富澤　信夫　山本　晃大　北村　英之　中村　淳
新東京病院　放射線科

P-1-03　冠危険因子ゼロの健康中年女性にも発症しうる急性冠症候群：特発性冠動脈解離と考えられた 2 症例
○西澤　信也[1]　山本　啓太[1]　西尾　学[1]　福田新一郎[2]　古川　啓三[1]
医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　循環器内科[1]　医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　健康管理センター[2]

P-1-04　動脈硬化ドックで発見された壮年期無症候性冠動脈多枝病変症例
－スクリーニングにどの検査が有用か－
○大本　由樹[1]　石原真木子[2]　大池裕美子[1]　謝　勲東[1]　柴　佳愛[1]　四倉　淑江[1]
有賀　明子[1]　荒木　明博[1]　辻　裕之[1]　荒瀬　康司[1]
虎の門病院付属健康管理センター[1]　虎の門病院付属画像診断センター[2]

P-1-05　人間ドックが診断の契機になった冠動脈肺動脈瘻の 1 例
○山本　正和[1]　八木　治雄[1]　鹿熊　一人[1]　新田　一葉[1]　飯田　浩[1]　永田　広幸[1]
横山　正洋[1]　臼田　和生[2]
厚生連滑川病院　滑川健康管理センター[1]　富山県立中央病院　内科（循環器）[2]

P-1-06　健診・人間ドックにおける虚血性心疾患検知に向けた無侵襲検査 MCG（Multifunction Cardiogram）の健診での有効性の検討
○落合　出[1]　田口　淳一[2]　大城　秀巳[1]　藤巻　力也[2]　佐野　純子[2]　古川真依子[2]
下門顕太郎[2]
ミットタウンクリニック有明[1]　東京ミッドタウンクリニック[2]

P-1-07　当院健診センターにおける心房細動発症リスクの検討
○山本　啓太[1]　西澤　信也[1]　西尾　学[1]　福田新一郎[2]　古川　啓三[1]
医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　循環器内科[1]　医療法人社団　石鎚会　田辺中央病院　健康管理センター[2]

P-1-08　血管年齢の変化におよぼす、動脈硬化危険因子の研究
○丸山　義明　有田　信和　岡野　麻子　永島かおり　黒岩比呂美　後藤　誠一
清水　正雄　武永　強　倉光　薫　足立　雅樹
埼玉医科大学病院　健康管理センター

P-1-09　メタボリック症候群の変化におよぼす、血管年齢、肺年齢ならびに動脈硬化危険因子の研究
○丸山　義明　有田　信和　岡野　麻子　永島かおり　黒岩比呂美　後藤　誠一
清水　正雄　武永　強　倉光　薫　足立　雅樹
埼玉医科大学病院　健康管理センター

P-1-10　**当健診センター受診者における Advanced Glycation End-products（AGEs）の検討**

○野村　秀一　大成有美子　竹林美津子　豊田　浩美　宮本　晴子　卜部　綾子
今川しのぶ　山埼　祥子
JR 広島病院　健診センター

呼吸器（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【16:30 ～ 17:30】
座長：山口　宏茂（一般社団法人日本健康倶楽部　和田山診療所　診療所長）

P-1-11　**人間ドック受診者における腎機能低下と閉塞性障害および各種因子についての検討**

○天川　和久　荒瀬　康司　辻　裕之　有元佐多雄　大本　由樹　加藤　久人
小川　恭子　戸田　晶子　山田　直行　守永　眞一
虎の門病院付属健康管理センター

P-1-12　**肺機能判定と生活習慣病との関係性について**

○前川　尚也　三浦麻里子　原　怜子　奥嶋　正衛
三河安城クリニック　管理部　精度管理グループ

P-1-13　**当施設の肺ＣＴ検診の結果と精検の状況**

○木平　悦子　平谷　惠　中村　繁美　中西早百合
三重県厚生農業協同組合連合会　松阪中央総合病院　健康管理施設　エポック

消化器（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【16:30 ～ 17:30】
座長：菅野壮太郎（社会医療法人財団石心会　さやま総合クリニック　院長）

P-1-14　**上部消化管内視鏡検査における鎮静度と患者満足度の比較検討**

○内山　淳子　岡村　知美　松村　仁美　紺野真理子　加藤　綾香　濱田　佳代
医療法人医誠会　医誠会病院　人間ドック SOPHIA

P-1-15　**当センターで発見されたヘリコバクターピロリー除菌後胃癌の特徴について**

○長島不二夫[1]　成田　和美[1]　徳永　智子[1]　青野　梨恵[1]　岡部　眞英[1]　森元　栄子[2]
千原　晶子[2]　川口　哲[1]
日本赤十字社熊本健康管理センター　消化器内科[1]　日本赤十字社熊本健康管理センター　情報管理課[2]

P-1-16　**当施設における 30 年間の胃癌検診の実態と、胃癌予防因子の検討**

○伊藤　恭子　常喜　眞理　前田　俊彦　小林　寛子　込田　英夫　真島香代子
橋本　広子　加藤　智弘
東京慈恵会医科大学　総合健診・予防医学センター　新橋健診センター

P-1-17　**任意型健診における CEA の大腸がん発見に対する有用性**

○近藤　美緒[1]　鏑木　淳一[2]　三枝　昭裕[1]
一般財団法人　日本健康管理協会　新宿健診プラザ[1]　医療法人社団三友会　あけぼの病院健診部[2]

ロコモティブシンドローム･フレイル･身体活動（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホールB）　【16:30～17:30】
座長：稲次　潤子（日本メディカルトレーニングセンター　リソルクリニック）

P-1-18　**人間ドック立ち上がりテスト導入によるロコモ啓発の有効性**

○坂本　規子　中川佐和子　後藤　敏　窪田　真弓　伊東美恵子　丸山　麻希
田所　万依
ＪＡ長野厚生連　富士見医療福祉センター　富士見高原病院

P-1-19　地域および職域健診受診者を対象としたロコモ 25 の評価と生活習慣との関連について

○磯島美穂子[1]　福島　郁子[1]　熊谷　貴子[2]　山田　真司[3]　伊藤　治幸[4]
公益財団法人　八戸市総合健診センター[1]　公立大学法人青森県立保健大学　健康科学部　栄養学科[2]
公立大学法人青森県立保健大学　健康科学部　看護学科[3]　天使大学　看護栄養学部　看護学科[4]

P-1-20　フィットネスクラブとの連携を介した肥満症患者に対する運動療法の有効性の検討

○植村　靖行[1]　青木　章子[1]
株式会社　日立製作所　ひたちなか総合病院　総合健診センター[1]
株式会社　日立製作所　ひたちなか総合病院　内科[2]

P-1-21　当健診センターにおける運動教室の導入

○長澤　絵里　熊谷　敦子　神田　朋子　井上　直美　西塚　碧　荒若　信子
武田　博明
社会福祉法人　恩賜財団　済生会　山形済生病院　健診センター

保健指導全般（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【16:30 ～ 17:30】
座長：藤川　るみ（医療法人グランドタワーメディカルコート）

P-1-22　「受けて良かった　健診と保健指導」
～特定保健指導で対応できない者への生活習慣改善のきっかけづくり～

○采女　正恵　宮田　章弘　望月　盈宏　末永　裕之　伊藤加代子　野田　真美
小牧市民病院　健診センター

P-1-23　当院健診受診者の保健指導階層化と健康認識の傾向から今後の保健指導の展開について考える

○小柴ひとみ　上原　里実　小川　朋子　渡辺　寛
公益財団法人　河野臨床医学研究所　北品川クリニック・予防医学センター

P-1-24　血清尿酸値からみたメタボリックシンドロームとの関連について
～閉経前後の女性における保健指導の立場から～

○西川　博美　南　清美　舛本　未来　林　美菜子　上野　知子　有村　美雪
山崎けい子　陳　浩鴻　中島　真美　鈴木　瞭
社会医療法人誠光会　草津総合病院　健康管理センター

P-1-25　鹿教湯病院における「ものわすれドック」事業の取り組みと受診者の心身機能の特性

○須江　慶太[1]　丸山　陽一[1]　大塚　貴史[1]　佐藤　剛章[1]　勝山　澄江[1]　富岡あき子[1]
平林　一[1]　大澤　道彦[1]　小松　泰喜[2]　斎藤　宗治[3]
JA 長野厚生連鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院[1]　日本大学　スポーツ科学部[2]　斎藤ホテル[3]

受診勧奨・医療連携・再検査・精密検査（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホールB）　【16:30～17:30】
座長：清水　正雄（埼玉医科大学病院健康管理センター　講師）

P-1-26　血圧要精検未受診者の特徴

○平良まさみ　鳥羽山睦子　武藤　繁貴
社会福祉法人　聖隷福祉事業団　保健事業部

P-1-27　当施設での受診勧奨の検討

○山上　彩奈　加藤　陽子　笹川　範子　阪田　郁　多田　則義
新潟医療生活協同組合　木戸病院　健診センター

P-1-28　ＨＰＶ検査の受診率アップへの取り組み

○橋本　洋子　村田　仁美　高木　重人　小形　智恵　大地もみじ
船員保険健康管理センター

P-1-29　**人間ドックフォローアップの充実～精密検査受診率の向上を目指した取り組み経過～**

○細野　志穂　和田　明美　加藤　静子　嶋　かなえ　杉原　亜弥　花木　絢花
小島のぞみ　秦　秀男　上村　博幸
一般社団法人　ぎふ綜合健診センター

P-1-30　**当センターにおける２次検査受診率向上の取り組みの効果の検討　第２報**

○石澤美奈子[1]　佐藤美津子[1]　吉田　優子[1]　田井　美穂[1]　鈴木絵利香[1]　井上　史央[1]
鈴木　恵理[1]　大井　利夫[2]　一戸　彰[2]
上都賀総合病院　健康管理センター[1]　上都賀総合病院[2]

P-1-31　**生活習慣病二次検診の受診率向上のための取り組み**

○角本　晴美[1]　岡野　真澄[1]　堀　峰子[1]　早田　友美[1]　神垣　充宏[2]　伊藤　博之[2]
國田　哲子[2]
済生会呉病院　健康管理室[1]　済生会呉病院　医療部[2]

P-1-32　**当センターにおける精密検査受診勧奨の取り組みについて**

○青山　晃士　丹村　敏則　田中　明美　大岩れい子　松原　香　小石　栄子
愛知県厚生農業協同組合連合会　知多厚生病院　健康管理支援センター

P-1-33　**大腸がん検診受診率向上と二次検診受診誘導への取り組み**

○新留　優子[1]　櫻木　真希[1]　金子　幸信[1]　荒木　豊子[1]　水時　奈美[1]　横山　直子[1]
高橋さゆき[1]　古波倉　允[2]
医療法人　清和会　長田病院　健康サポートセンター[1]　消化器内科[2]

組織運営（施設運営）（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【16:30 ～ 17:30】
座長：大塚　博紀（社会医療法人財団石心会　さやま総合クリニック　健診センター長）

P-1-34　**ドラッカーのマネジメント理論からみえてきた当健診センターの現状と問題点**

○小口　淳　江嶋　真　西村　陽平　小林由美子　小松いづ美　寺島　悠那
瀬口ちなみ　寺澤　由紀　今井　寿生　川嶋　彰
岡谷市民病院健診センター

P-1-35　**当健診センターの実績と取り組みの検証**

○洲崎　聡[1,2]　川崎　千都[1]　中條　卓也[1,3]　高見　史朗[4]
市立大津市民病院　健診センター[1]　市立大津市民病院　外科・消化器外科・乳腺外科[2]
市立大津市民病院　循環器内科[3]　市立大津市民病院　消化器内科[4]

P-1-36　**当健診センターの新規受診者継続についての分析と今後の展望について**

○北本　淳志　坂本　晃代　中田　勉　宇野　友康　勝木　達夫
やわたメディカルセンター　健診センター　健康づくり支援課

P-1-37　**顧客体験に基づく人間ドック健診施設の評価とリピート要因の検討**

○水垣　活也
公益財団法人河野臨牀医学研究所附属北品川クリニック

P-1-38　**当施設におけるインシデント・アクシデント報告を活用した改善事例**

○野本　尚彦[1]　宮司　紗貴[1]　三輪一二三[1]　白岩隆太郎[1]　島内　勝紀[1]　竹元　豊志[2]
辻　泰喜[2]　森　充子[1]　吉田　康之[3]　大草　敏史[1]
一般社団法人　オリエンタル労働衛生協会　東京支部　オリエンタル上野健診センター[1]
川口パークタワークリニック[2]
昭和大学病院医療安全管理部門[3]

コンピュータシステム・ICT・その他（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホールB）　【16:30～17:30】
座長：工藤雄一朗（医療法人社団せいおう会　鶯谷健診センター　理事長）

P-1-39　PDF ファイルを用いた超音波画像閲覧システムの構築

○金原　美子　平山　幸子　川村　孝代　松木　富美　岡田美智子　佐久本千絵
師岡　雄二　一矢　有一
一般財団法人船員保険会　船員保険福岡健康管理センター

P-1-40　事務職員による所見入力ワードパレット作成

○佐生　義貴　宇田川正勝　吉野江里子　高橋佳代子　新井　祥子　山本　弥生
栗原　智子　米澤　真頼　小野　克弘　吉田　秀夫
医療法人社団普照会　井上記念病院健康管理センター

P-1-41　健診システムの更新に合わせた業務改善への取り組み

○鈴木真由美　寺田　尚弘　引地　学
済生会松阪総合病院　健診センターあさひ

P-1-42　健診システムにおけるタブレットの効用と未来

○玉谷　青史　佐藤　成
医療法人社団玉栄会　東京天使病院

P-1-43　新健診システム導入に伴う業務改善とその効果

○岡　崇彰[1]　宮澤　朋子[2]　佐治　智之[1]　山田　孝二[1]　朝生　里未[1]　野田久美子[1]
平島　俊至[1]
社会医療法人社団さつき会袖ケ浦さつき台病院[1]　社会医療法人社団さつき会かずさアカデミアクリニック[2]

一 般 演 題
（ポスター発表）

プログラム

２日目　８月 31 日（金）

演題番号

例：**P-2-01**

ポスター

期　日
1：1 日目
2：2 日目

2日目(8月31日(金))

プレナリーセッション（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：鏑木　淳一（医療法人社団三友会　あけぼの病院健診部　部長）

P-2-01　25 年間の日本人男性の PSA 基礎値の変化
○大木　亮[1]　伊藤　一人[1]　関口　雄一[1]　古谷　洋介[1]　曲　友弘[1]　小倉　治之[1]
黒沢　功[1]　鈴木　和浩[2]　鈴木　理恵[2]
医療法人社団美心会　黒沢病院[1]　群馬大学泌尿器科[2]

P-2-02　MRI 全身拡散強調像（DWIBS）の有用性
○北　雄介　野木村　宏　小林　亮　平松　毅幸
焼津市立総合病院

P-2-03　「喫煙者」「非喫煙者」「禁煙者」の動脈硬化疾患関連データについて
－禁煙により冠動脈疾患のリスク因子が非喫煙者に近づく－
○雅楽川英樹　古畑総一郎　秋元　和子　野地　秀一　西田　久実
東京逓信病院　人間ドックセンター

P-2-04　緑内障に特徴的な所見採用前後の精査結果および意識の変化に関する検討
○窪田　健一[1]　町原美希子[2]　田尻　牧子[2]　塚田　紀子[2]　前田　麻衣[2]　山田　愛美[2]
尾上あゆみ[3]　大森　久光[3]　野波　善郎[1]　緒方　康博[1]
日本赤十字社熊本健康管理センター　診療部[1]　日本赤十字社熊本健康管理センター　第一検査課[2]
熊本大学大学院　生命科学研究部　生体情報解析学[3]

P-2-05　生活習慣病における血液中微量金属元素の変動
○本田　克也　村松　尚範　海野　啓志　菅野　幸子
筑波大学　医学医療系　保健医療学域

P-2-06　健診発見の小細胞肺癌の臨床的検討
○栗島　浩一
筑波メディカルセンター病院　呼吸器内科

がんその他（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：亀井　一彦（医療法人社団相和会　みなとみらいメディカルスクエア　副院長）

P-2-07　前立腺がん検診における PSA 値の季節性変動についての研究
○関口　雄一[1]　大木　亮[1]　古谷　洋介[1]　曲　友弘[1]　小倉　治之[1]　伊藤　一人[1]
黒澤　功[1]　藤塚　雄司[2]　鈴木　和浩[2]
医療法人社団美心会　黒沢病院　泌尿器科[1]　群馬大学医学部付属病院　泌尿器科[2]

P-2-08　協会けんぽにおける職域がん検診結果の地域差についての分析と考察
○長谷川　郷
全国健康保険協会　本部　企画部　研究室

P-2-09　人間ドックの CA19-9 上昇を契機として偶然に診断された十二指腸原発濾胞性リンパ腫の 1 例
○谷水　将邦[1]　懸樋　英一[2]　小林　計太[3]　柴垣広太郎[4]　吉野　正[5]
鳥取市立病院　血液内科[1]　鳥取市立病院　総合診療科[2]　鳥取市立病院　病理診断科[3]
島根大学第二内科　光学医療診療部[4]　岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　病理学（第二 / 腫瘍病理）[5]

P-2-10　当院ドックにおける乳癌検診と発見乳癌症例の検討

○吉田　誠　浜中大三郎　西川　邦寿
福井赤十字病院　健診部

P-2-11　人間ドックで発見されたガーゼオーマの一例

○籠島　智[1]　寺田総一郎[1,2]　高木　昭房[1]　高橋　定雄[3]　遠藤　久子[4]　高階　経幸[5]
北川　幸子[1]　山﨑　知子[1]　鈴木　俊雄[1]
江戸川病院　総合健診センター[1]　内視鏡センター[2]　外科[3]　病理検査科[4]　放射線科[5]

肥満、メタボリックシンドローム（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホールB）　【11:30～12:30】
座長：新　智文（JA 北海道厚生連　帯広厚生病院健診センター長）

P-2-12　腹囲と内臓脂肪面積の相関

○花岡　淑子　辻村　貴弘　中村　光利　田岡眞由美　土田　千晴　富阪　直人
グランソール奈良

P-2-13　ドック受診者における労働負荷と肥満度との関連

○杉浦　彩香　池井　肇
JA 長野厚生連　佐久総合病院　人間ドック科

P-2-14　特定健康診査からみた当健診センター受診者の実態と特性

○佐藤真由美[1]　清水　磨依[1]　泉田　祐子[1]　川口　理恵[1]　宮津　克幸[2]　仙田　聡子[1]
富山赤十字病院　健診センター[1]　富山赤十字病院　心臓血管・呼吸器外科[2]

肝、胆、膵（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：伊藤美奈子（横浜市立みなと赤十字病院　健診センター長）

P-2-15　当院健診受診者における脂肪肝のリスク因子の検討

○坪内　啓正[1]　野ツ俣和夫[2]　北野　陽一[1]　加藤　素子[4]　真田　拓[2]　久田あずさ[3]
藤澤　克憲[3]　岡藤　和博[3]
福井県済生会病院　放射線技術部[1]　福井県済生会病院　内科[2]　福井県済生会病院　健診科[3]
福井県済生会病院　検査部[4]

P-2-16　当人間ドック・健診センターにおける平成 28 年度腹部超音波検査結果と特性別分析

○日置　文良[1,2]　日置　敦巳[1,2]　番家　砂織[2]　南　芳子[2]　佐伯　正人[2]
細川　寿子[1,2]　河合　壽一[1,2]　林　慎[1,2]
松波総合病院　内科[1]　まつなみ健康増進クリニック　人間ドック・健診センター[2]

P-2-17　CA19-9 高値を契機として偶然発見された早期胆嚢がんの 1 例

○中嶋　俊彰　山岡　純子　小林　恭子　山鳥　紀子　内堀　康恵　幡　弘枝
知念のり子　奥岨　有代　河村　香里
済生会京都府病院　健診センター

P-2-18　健診・併設病院・大学病院の連携で治療された非機能性 PNET の 1 例

○田伏　洋治[1]　花井　佑子[1]　西川亜友美[1]　川崎　百代[2]　山本　裕子[2]　穴澤　貴行[3]
武田　隆男[4]　武田　隆久[4]　武田　道子[4]　武田　隆司[4]
宇治武田病院健診センター[1]　宇治武田病院検査科[2]　京都大学医学部附属病院・肝胆膵・移植外科[3]
宇治武田病院グループ[4]

眼・認知症（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：吉田　泰行（医療法人社団威風会　栗山中央病院　耳鼻咽喉科・健康管理課　耳鼻咽喉科部長）

P-2-19　当院人間ドックと物忘れドックとの連携により診断機会を得た若年性アルツハイマー型認知症の一例
○島貫　由理[1]　船曳　和彦[1]　笠貫　浩史[1]　鈴木　賢[1]　井関　栄三[2]
順天堂大学医学部付属順天堂東京江東高齢者医療センター[1]　シニアメンタルクリニック日本橋人形町[2]

P-2-20　ヘッドマウント型視野計 imo® での黄斑部疾患スクリーニングプログラムの使用経験
○駒形　友紀　奥出　祥代　谷澤　芙実　高田有希子　伊藤　朝美　古市　真与
江田　愛夢　大平　亮　伊藤　義徳　中野　匡
東京慈恵会医科大学附属病院　眼科学講座

特定保健指導（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：小林　隆司（一般社団法人新潟県労働衛生医学協会　本部医局　医長）

P-2-21　特定保健指導「脱落者ゼロ」を目指した取り組み
○明後　祐子　松本　泳子　平野　理恵　中村　昭光　山鳥　紀子　田中　香織
医療法人社団蘇生会　蘇生会総合病院　健康増進センター

P-2-22　特定保健指導における体験型指導法の検討－ 3 kg の体脂肪モデルを用いて－
○仙崎　佳子　加藤奈津子　向　紗知　多田真奈美　樫本　南乃　佐藤　陽子
堀口　優
地域医療機能推進機構　金沢病院　健康管理センター

P-2-23　特定保健指導対象者の当日指導未利用の理由
－協会けんぽ特定保健指導対象者に焦点をあてて－
○山崎　円[1]　山本　和美[1]　山田　昇司[1]　竹澤　二郎[1]　小野田房子[1]　橋爪　直紀[1]
坪井　りえ[2]　塩ノ谷朱美[2]
原町赤十字病院[1]　群馬県立健康科学大学[2]

P-2-24　特定保健指導の当日実施と後日実施の比較検討
－当施設の特定保健指導を導入したＡ社を対象として－
○清川　拓馬　飯塚　富子　井上　洋子　佐藤　寧子　佐藤　佳世　佐々木明美
勝木美佐子　野本　一臣　富岡　照彦　大坪　修
一般財団法人健康医学協会　東都クリニック

P-2-25　当院における特定保健指導の取り組み　～実施率向上を可能とした方策～
○武内　里恵　石川　順子　高間実可子　片桐　美穂　坂口　紀代　大島　章
泉　千明　中澤　三郎　片山　信　服部　昌志
医療法人　山下病院　健診センター

P-2-26　特定保健指導における健康教室での活動報告～運動指導での理学療法士の関わり～
○山下　範恭[1]　松尾　晃次[2]　桑畑　浩子[2]　森本　信三[1]　間野　多絵[1]
白浜はまゆう病院　南紀白浜温泉リハビリテーションセンター[1]　白浜はまゆう病院　人間ドック・健診センター[2]

P-2-27　質問票記入時、保健指導希望有無によりＨ 28 年度特定保健指導結果とＨ 29 年度特定健診結果を比較、また改善がみられた 1 症例を紹介
○増田真由美　中村　有美
静岡済生会総合病院　健康管理センター

P-2-28　青森県における特定健診受診者のメタボリックシンドローム階層化および腎機能別の推定食塩摂取量について

○熊谷　貴子[1]　山田　真司[2]　福島　郁子[3]　磯島美穂子[3]　伊藤　治幸[4]
公立大学法人青森県立保健大学　健康科学部　栄養学科[1]　公立大学法人青森県立保健大学　健康科学部　看護学科[2]
公益財団法人　八戸市総合健診センター[3]　天使大学　看護栄養学部　看護学科[4]

P-2-29　積極的支援と動機付け支援者に対する特定保健指導の 1 年後の検査値への効果について

○福島　郁子[1]　磯島美穂子[1]　山田　真司[2]　熊谷　貴子[3]　伊藤　治幸[4]
公益財団法人　八戸市総合健診センター[1]　公立大学法人青森県立保健大学　健康科学部　看護学科[2]
公立大学法人青森県立保健大学　健康科学部　栄養学科[3]　天使大学　看護栄養学部　看護学科[4]

P-2-30　特定保健指導の検査値改善効果と保険者種別との関連について

○山田　真司[1]　熊谷　貴子[2]　伊藤　治幸[3]
青森県立保健大学　健康科学部　看護学科[1]　青森県立保健大学　健康科学部　栄養学科[2]
天使大学　看護栄養学部　看護学科[3]

P-2-31　実践可能で減量に繋がる行動計画を立案するための取り組み
－指導のプロセス評価・分析を行い、効果的な特定保健指導を提供する－

○加藤麻衣子　松平真美子　渡辺　恭代　坂上　恵美　吉永　理恵　草刈　彰子
JA 北海道厚生連　札幌厚生病院　健診センター

栄養・食生活・喫煙（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：畠山　雅行（東京都結核予防会　顧問）

P-2-32　満腹まで食べる食習慣と健診データとの関連について

○大嶋　有一[1,2]　石田　芳[3]　内田　輝美[3]　高見　宏[4]　斎藤　博[2]　和泉　匡洋[1]
公立学校共済組合近畿中央病院　循環器内科[1]　公立学校共済組合近畿中央病院　健康管理センター[2]
公立学校共済組合近畿中央病院　看護部[3]　公立学校共済組合近畿中央病院　総合診療科[4]

P-2-33　職員の健康管理　～自己管理意識を高める取り組み　減塩・禁煙指導から～

○吉川　貴子　桑畑　浩子　間野　多絵　森本　信三　松尾　晃次　尾崎　公子
古井　啓詞　崎下　舞
公益財団法人　白浜医療福祉財団　白浜はまゆう病院　食養科

P-2-34　当院における禁煙指導と肺癌検診への導入

○北　雄介　野木村　宏　小林　亮　平松　毅幸
焼津市立総合病院　外科

P-2-35　パターンプロセス理論から見た喫煙毒性
異常パターン別寿命短縮効果および性差について

○平井　学
公益財団法人　高知県総合保健協会

P-2-36　禁煙外来終了後の継続支援

○柳原　園子　宮下　辰也　笠原　寛　渡邊　秀彦
諏訪赤十字病院　健診センター

受診者サービス・外国人（健診ツーリズム）（ポスター発表）ポスター会場（1F 展示ホール B）　【11:30 ～ 12:30】
座長：小田夏奈江（社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 人間ドック健診センター）

P-2-37　外国人健診受診者受入れ体制の整備

○林　千津子[1]　小池　秀夫[2]　平林　和子[2]　高木　健治[2]　牛山　俊樹[2]　熊崎　博司[3]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター　健康管理部[1]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤健康センター　診療部[2]
社会医療法人財団　慈泉会　相澤病院　経営戦略部国際課[3]

P-2-38　マンモグラフィ撮影時における、撮影環境についての取り組み

○市原　綾子　金森　誠　山内　貴裕　山内　雅裕　山内　裕子　木田　恆
山内　英通
社団医療法人かなめ会　山内ホスピタル　人間ドック健診センター

P-2-39　当施設での安全、安楽な採血の取り組みの現状と分析－情報管理共有化による受診者負担軽減

○照屋　幸子　浅沼　葉子　猪井真奈美　坂井　春男　木村　政人
医療法人財団　立川中央病院付属健康クリニック

P-2-40　人間ドック受診者満足度調査からの改善と今後の課題

○林　由加子　羽原美喜子　桑本　美雪　下岡　徳子　野瀬　淳子
日本鋼管福山病院　人間ドック室

P-2-41　受診者アンケート結果に基づいた満足度向上への取り組み～待ち時間の質向上を目指して～

○西藤扶美子　橋倉　泰彦　民谷さきえ　小林美貴子　清水　美香
特定医療法人　丸山会　丸子中央病院　健康管理部

P-2-42　聴覚障害者受診支援における携帯情報端末の活用について

○林　美菜子　舛本　未来　有村　美雪　小島　和彦　高下　浩之　吉田　早苗
橋本　郁美　藤堂　義郎　鈴木　瞭
社会医療法人誠光会　草津総合病院　健康管理センター

P-2-43　人間ドック受診者における運動療法の専門家による運動指導の必要性

○森本　信三[1]　中本佳代子[1]　野村　卓生[2]　松本　大輔[3]　野崎　展史[4]　桑畑　浩子[5]
小口　健[1]　松尾　晃次[5]
公益財団法人　白浜医療福祉財団　白浜はまゆう病院　南紀白浜温泉リハビリテーションセンター[1]
関西福祉科学大学　保健医療学部　リハビリテーション学科[2]　畿央大学　健康科学部　理学療法学科[3]
日本理学療法士協会　職能課[4]　公益財団法人　白浜医療福祉財団　白浜はまゆう病院　人間ドック・健診センター[5]